

## 第2章 サイン計画の策定

## 第2章 サイン計画の策定

### 1. 歩行者系サイン

#### 1) 歩行者系サインの現状

##### (1) サインの種類

①案内サイン…[地図等を用いて当該地区の全体の中での位置関係、状況等を伝える案内機能を持つもの]

- ・現在地周辺の状況を地図で示した案内サインの中で、素朴な印象のある木質案内板が設置されており、大型と小型の2種類のタイプがある。なお、木質案内板の中には劣化が進行して、表面がまだらになったものや、文字が読めなくなったものが見られる。
- ・大型タイプは犬山駅、犬山遊園駅、キャッスルパークキングの3箇所に設置されている。

(設置状況図の C1)



▲大型木質案内板(犬山駅)



▲大型木質案内板(犬山遊園駅)



▲大型木質案内板(キャッスルパークキング)

- ・小型タイプの木質案内板は、路地の辻部分に設置されている。(設置状況図の C2)



▲小型木質案内板(しみんてい)



▲小型木質案内板(北小学校)



▲小型木質案内板(ユニ-跡地)

- ・地図が印刷タイプの案内板が、犬山駅自由通路と犬山遊園駅に設置されている。(設置状況図の C3)



▲印刷案内板(犬山駅自由通路)



▲印刷案内板(犬山遊園駅)



▲印刷案内板(犬山橋トレ壁面)

## ②誘導サイン…[目的の場所へ誘導するため、方向や距離を伝える機能を持つもの]

- ・城下町内の主要交差点には、木質の道標が数多く設置されている。(設置状況図のD1)



▲木質道標



▲木質道標のアップ

- ・犬山城周辺には、東海自然歩道の関連で石材道標と丸太道標が設置されている。(設置状況図のD2とD3)



▲石材道標



▲丸太道標

- ・市役所の外構部や郷瀬川沿い歩道には、矢羽タイプの誘導サインが設置されている。(設置状況図のD4)



▲矢羽型誘導サイン(市役所)

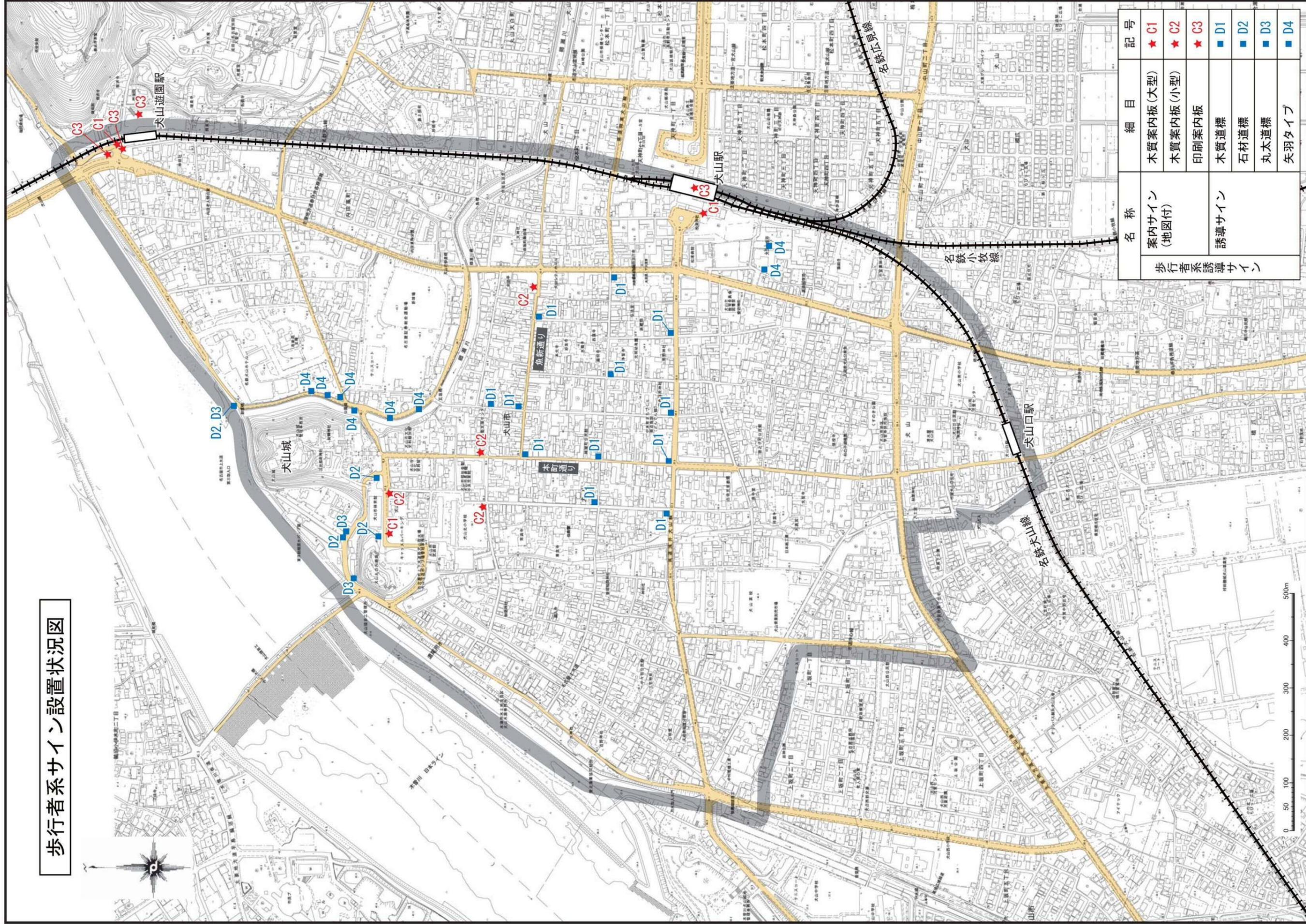


▲矢羽型誘導サイン(郷瀬川)

### (2) サインの設置位置

- ・案内サインの配置位置に偏りがあり(犬山駅、犬山遊園駅、犬山城周辺)に多く、城下町内には少ない(本町通り)
- ・誘導サインの配置位置に偏りがあり(駅前通り、城前通り、川端通り)に多く、城下町内には少ない(本町通り、新町通り等)
- ・駅から犬山城への誘導が考慮されていない配置となっている。

歩行者系サイン設置状況図



名称	細目	記号
案内サイン (地図付)	木質案内板(大型)	★ C1
	木質案内板(小型)	★ C2
	印刷案内板	★ C3
誘導サイン	木質道標	■ D1
	石材道標	■ D2
	丸太道標	■ D3
	矢羽タイプ	■ D4
歩行者系誘導サイン		

## 2) 案内サインの配置計画

### (1) 案内サインの種類

#### ① 総合案内サイン

- ・ 観光の起点や拠点となる地点では周辺案内マップに加えて、広域案内マップや観光促進案内を組み合わせた総合案内サインを設置する。



▲ 総合案内サインの例（奈良県）

#### ② 案内サイン

- ・ 案内サインは原則として、周辺案内マップ(現在地の位置と、目的地までの距離や移動経路を認識できる地図)がついたものを一般型とします。
- ・ 周辺案内マップは、来訪者の利便性に配慮して観光キャンペーンで配られているガイドマップと同じ範囲(犬山遊園駅から犬山口駅)とする。

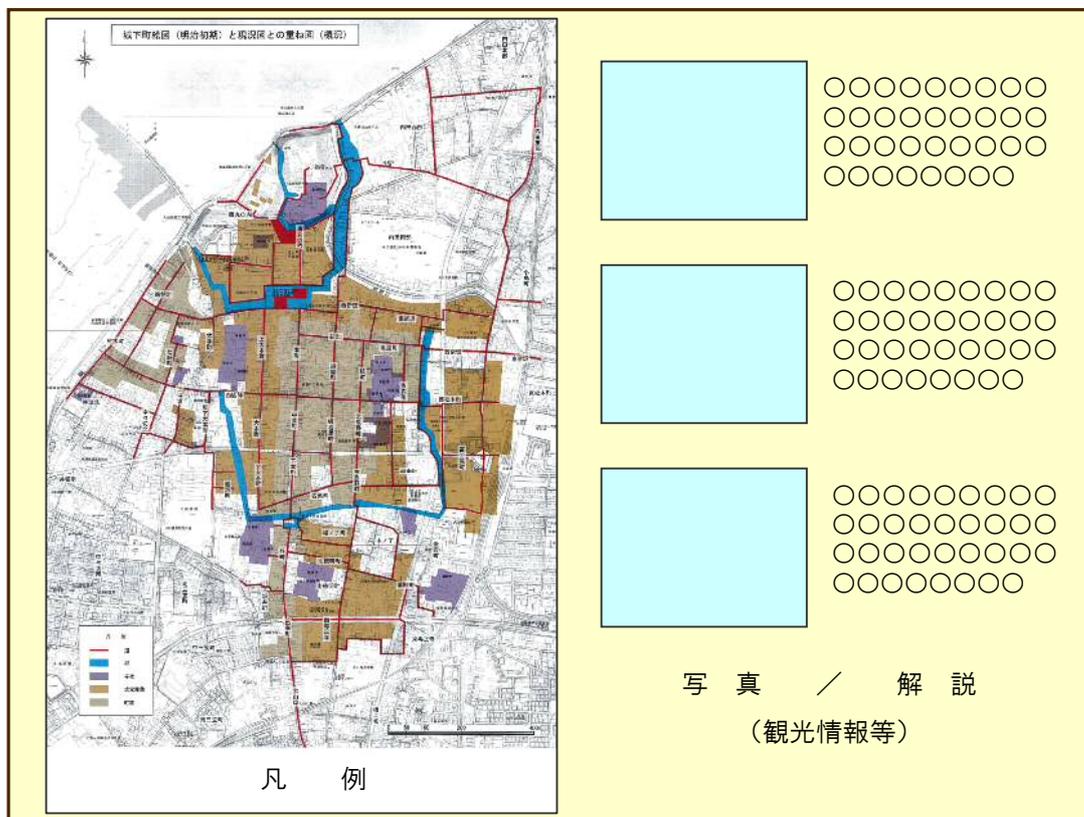


▲ 案内サインの例（奈良県）

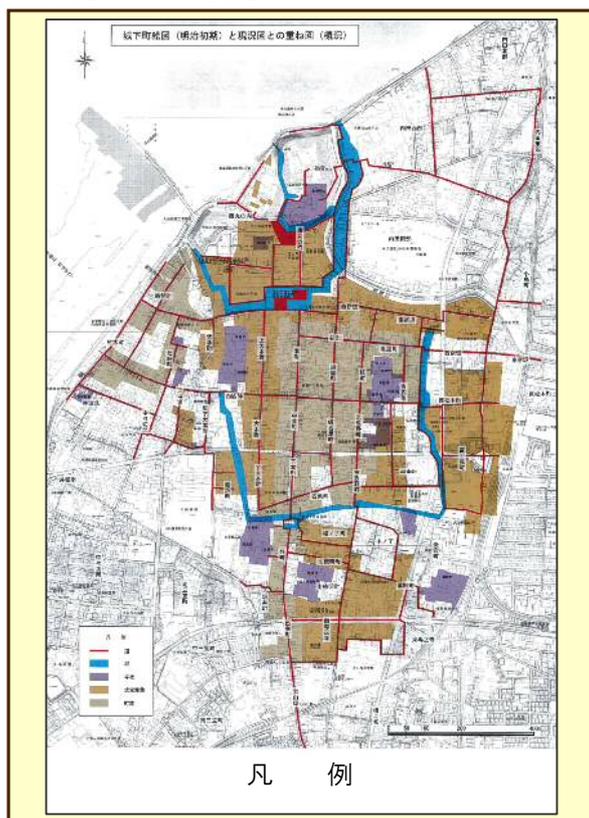
◎案内サインの提供情報

- ・案内サインに掲示する地図は、現況図と城下町絵図との重ね図とし、観光客が現在地を確認できるとともに、城下町当時の立ち位置についても知ることができるように配慮する。これは、観光客に犬山城下町の歴史性を具体的に偲んでもらうための工夫である。

〈総合案内サインの掲示イメージ〉



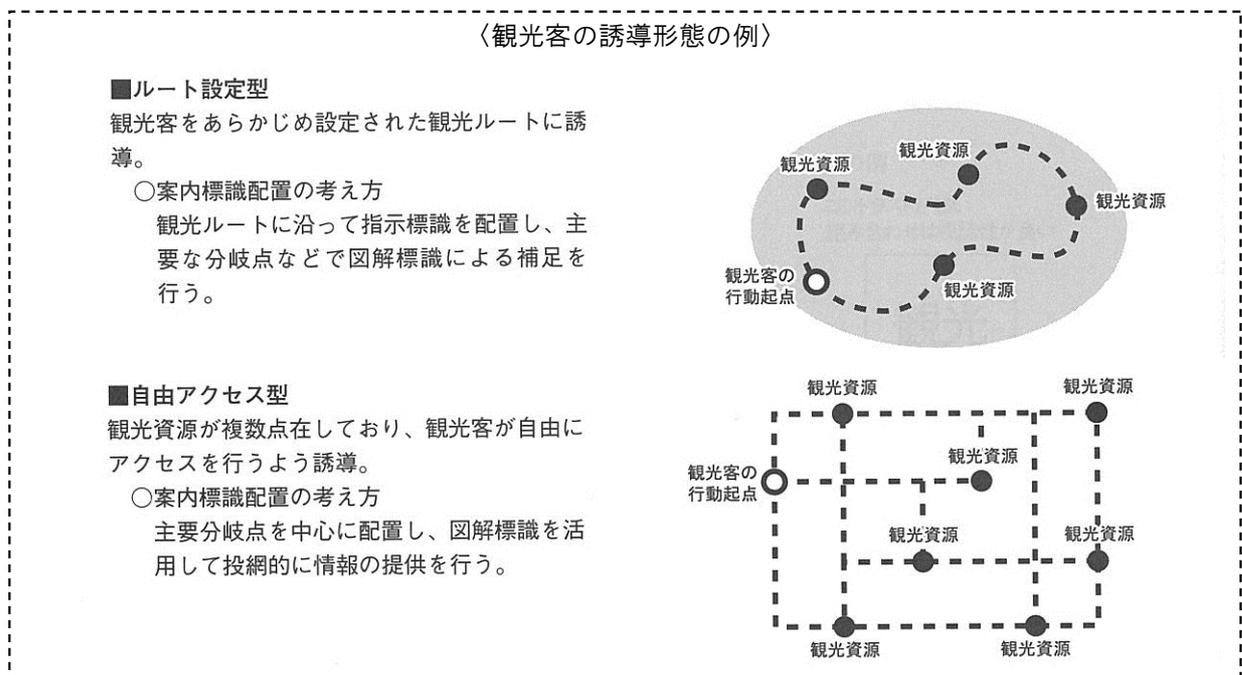
〈案内サインの掲示イメージ〉



## (2) 案内サインの配置方針

### ①案内サインの配置の考え方

- ・観光地における案内サインの配置パターンは、観光資源の種類や分布状況により、下図のようなルート設定型や自由アクセス型の誘導形態が考えられる。
- ・城下町地区の誘導形態については、初めての来訪者に対しては主要観光施設を効率よく回れるようにルート設定型が適当であるとともに、リピーターに対しては城下町内を自由に探訪する自由アクセス型が適当であるため、誘導形態としてはルート設定型と自由アクセス型の混合タイプと考えられる。
- ・城下町地区の案内サインの配置にあたっては、ルート設定型で配置しておけば、自由アクセス型にも対応できるため、初めての来訪者が安心して観光できるメイン経路を設定し、メイン経路上に案内サインを配置するものとする。



出典「観光活性化標識ガイドライン(平成17年)」(国土交通省)

### ②行動起点・メイン経路の設定

- ・来訪者の行動起点は、公共交通の結節点である犬山駅、犬山遊園駅、犬山口駅の3駅を最重要ポイントとして設定する。また、観光駐車場(キャッスルパーキング、名証グラウンド)についても、駅に次ぐサブ的な来訪者の行動起点として位置づける。
- ・誘導案内の拠点となる主要観光施設は、犬山城と本町通りとする。
- ・犬山駅、犬山遊園駅、犬山口駅から犬山城及び本町通りをつなぐ動線を誘導するメイン経路として位置づける。

・犬山城下町の特徴的な町筋をメイン経路とする。(下図参照)

→城下町の主軸である本町通り、下本町通り

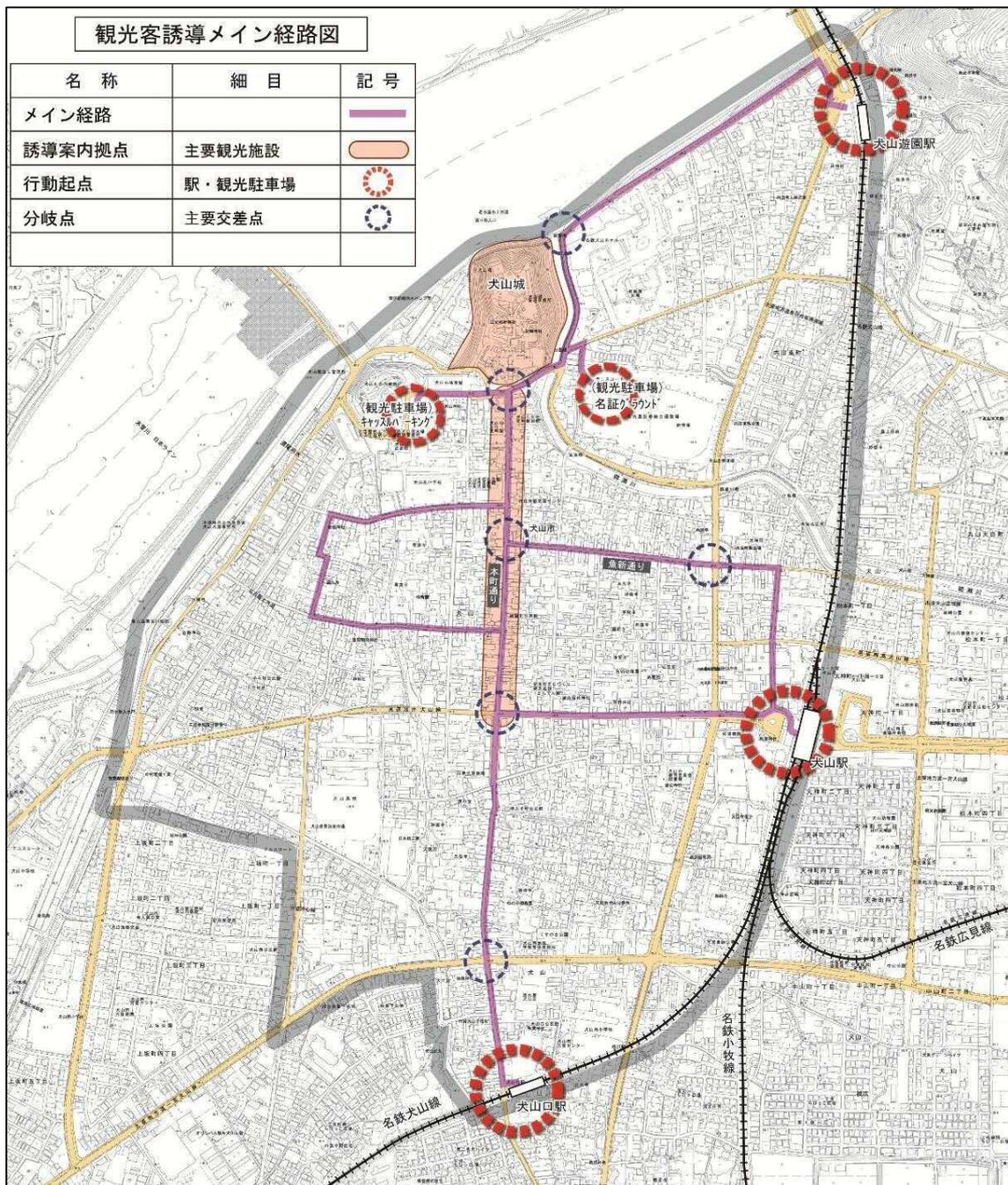
①城下町当時、総構えの南の出入口から城郭の大手門までを結ぶ道筋であり、町屋の立ち並び商人町であった。現在も伝統的な町並みがかつとも連続して残されているとともに、土産物店等の観光施設も多く立地しており、城下町の目抜き通りである。

→歴史的町並みが残る魚新通り

②上記の本町通りが南北筋であるのに対し、総構えの余坂の木戸につながり、城下町の東西軸にあたるのがこの魚新通りである。伝統的建造物の立地も本町通りに次いで多い。

→城下町と木曾川沿いの湊町を結ぶ風情に満ちた坂道

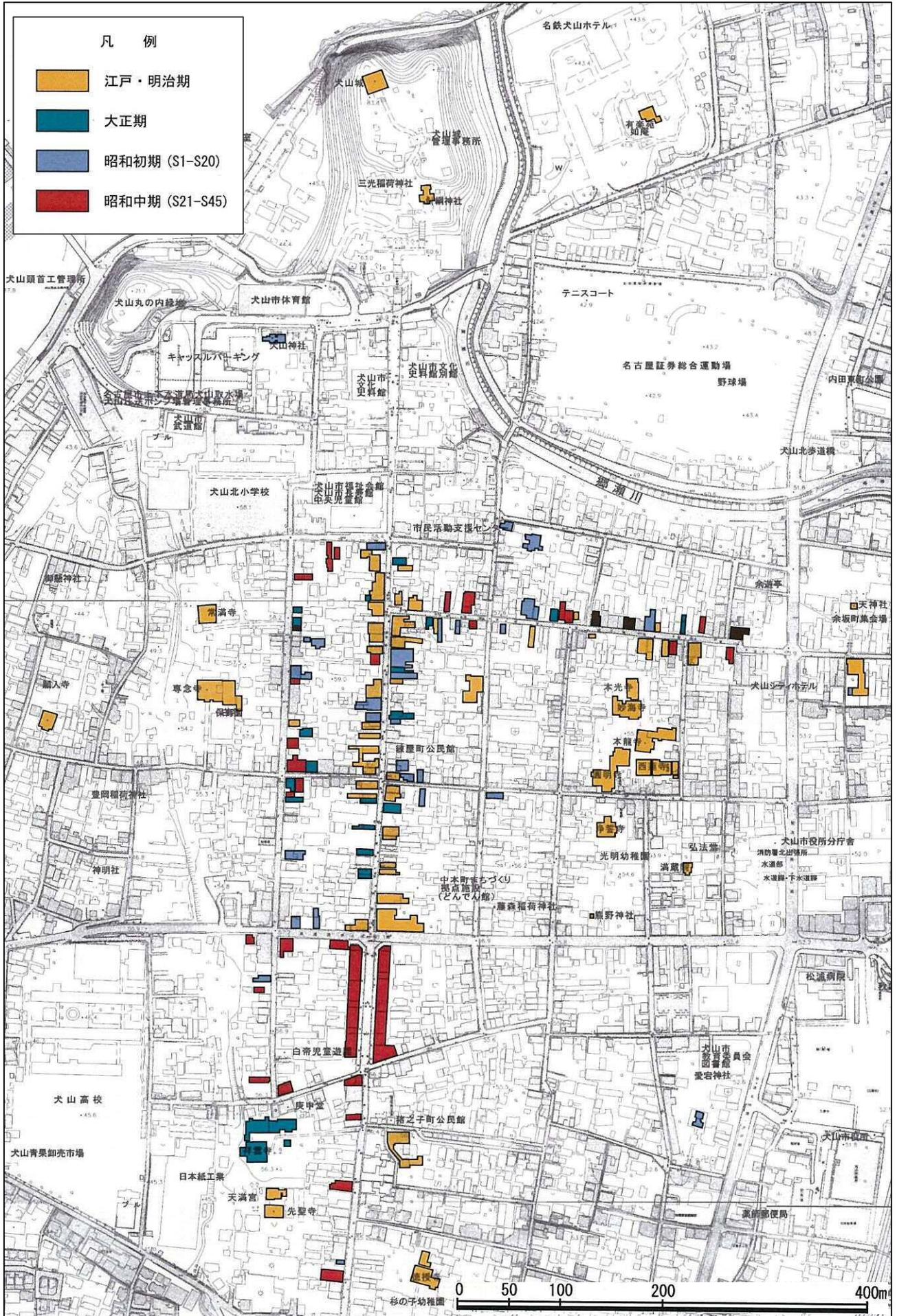
③台地上に形成された城下町と木曾川沿いに形成された湊町（鵜飼町、材木町）を結ぶ道筋であり、総構えの堀の役割を果たした河岸段丘の崖構造を間近に見ることができる。道筋には寺町が残り、歴史的な風情も残している。



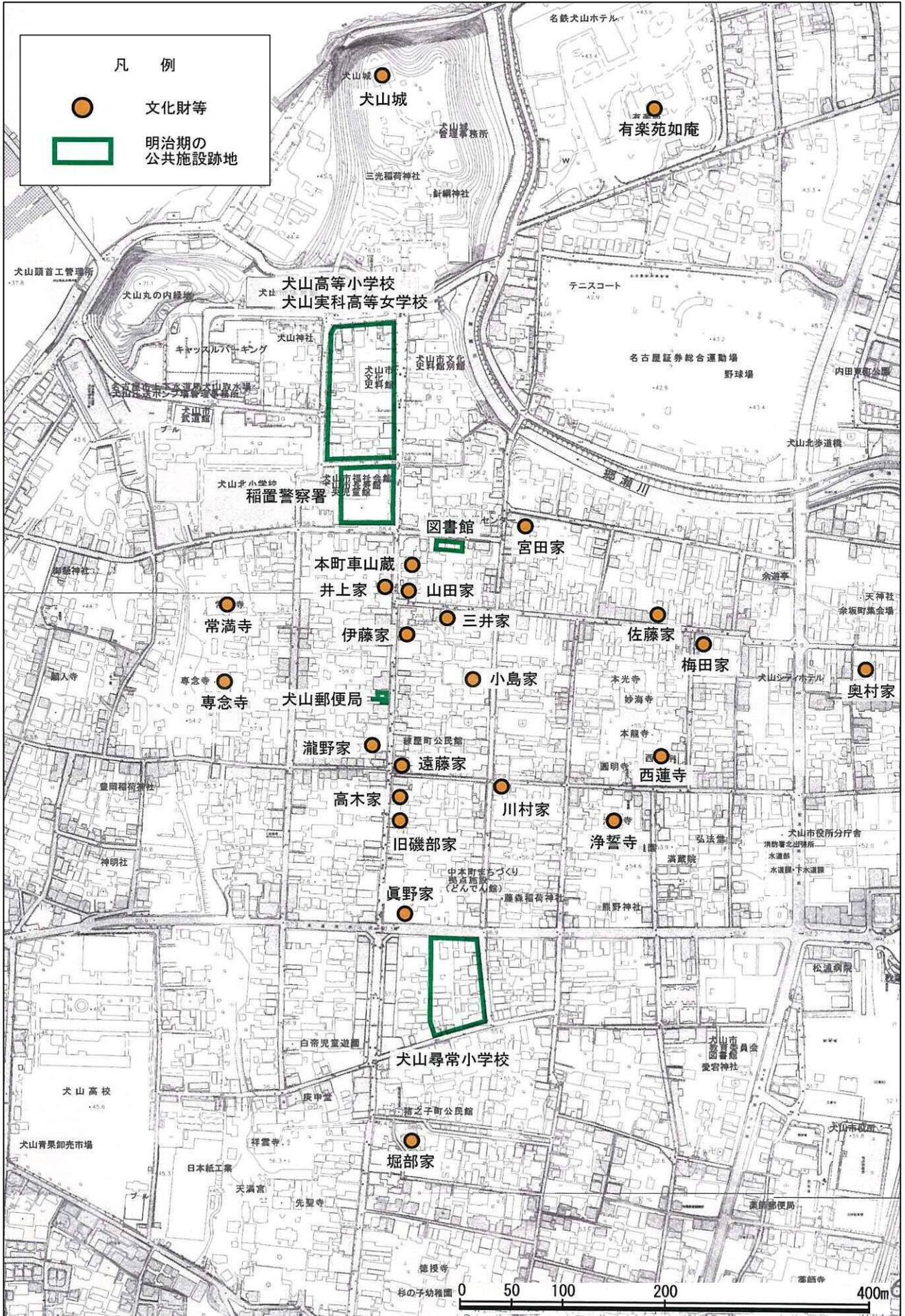




# 建築年次別建物現況図

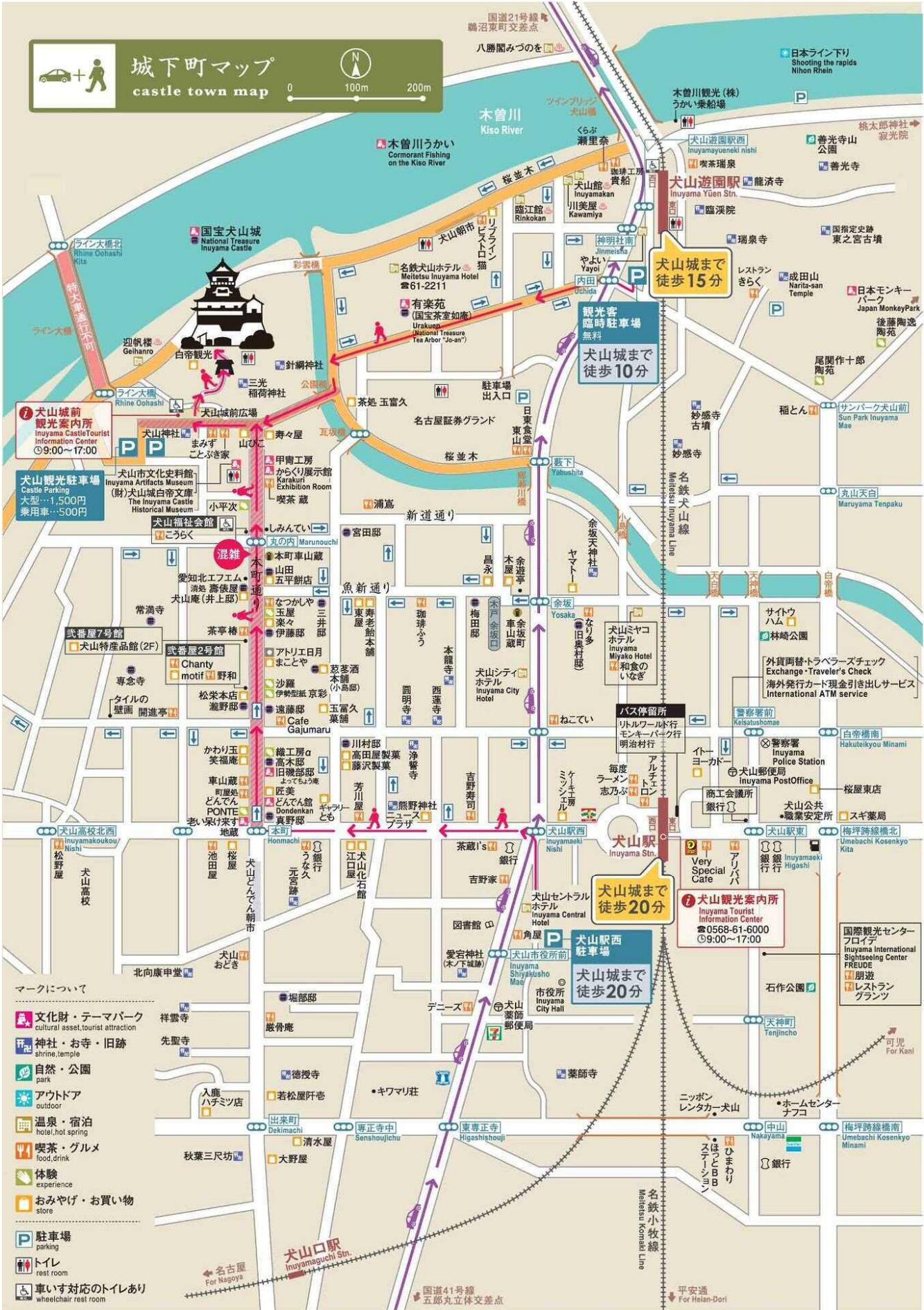


# 文化財分布図



# 観光マップ

**城下町マップ**  
castle town map



**犬山城前 観光案内所**  
Inuyama Castle Tourist Information Center  
9:00~17:00

**犬山観光駐車場**  
Castle Parking  
大型...1,500円  
乗用車...500円

犬山城まで 徒歩15分

観光客 臨時駐車場  
犬山城まで 徒歩10分

犬山城まで 徒歩20分

**犬山観光案内所**  
Inuyama Tourist Information Center  
0568-61-6000  
9:00~17:00

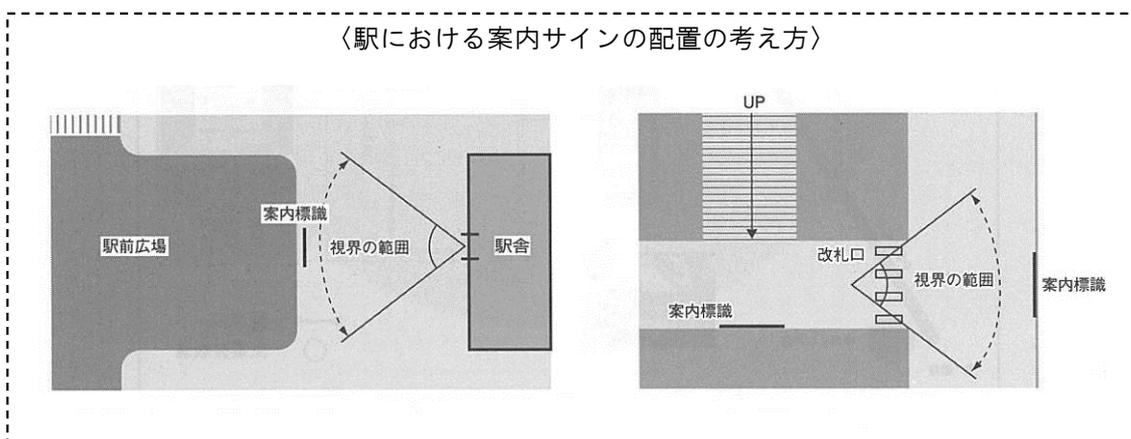
- マークについて
- 文化財・テーマパーク  
cultural asset, tourist attraction
  - 神社・お寺・旧跡  
shrine, temple
  - 自然・公園  
park
  - アウトドア  
outdoor
  - 温泉・宿泊  
hotel, hot spring
  - 喫茶・グルメ  
food, drink
  - 体験  
experience
  - おみやげ・お買い物  
store
  - 駐車場  
parking
  - トイレ  
rest room
  - 車いす対応のトイレあり  
wheelchair rest room

### ③案内サインの配置方針

- ・主要な行動起点となる犬山駅、犬山遊園駅、犬山口駅及び犬山城前には、総合案内サインを設置するものとする。
- ・駅に次ぐ行動起点である観光駐車場のキャスルパーキング及び名証グラウンドには、一般型の案内サインを設置するものとする。
- ・メイン経路の折れ点や幹線道路との主要交差点については、案内の必要な分岐点として位置づける。また、行動起点と分岐点、又は分岐点間で区間距離が 300m<sup>\*1</sup>以上となる場合は、現在地を知らせる中継ポイントとして連絡点を設けるものとする。（<sup>\*1</sup> 宇都宮市公共サイン技術指針 平成 19 年 3 月によれば、歩行者が歩いていて不安を感じない距離は 150～300m と紹介している）
- ・上記の分岐点、連絡点には、一般型の案内サインを設置するものとする。
- ・案内サインの具体的な設置場所については、以下の留意事項を踏まえて検討するものとする。

#### 【案内サインの設置場所についての留意事項】

- ▶ 行動起点となる駅については、改札口や通路の出入口から視界できる範囲内の歩行者動線の結節及び分岐点に配置する。
- ▶ 歩行者動線を考慮し、歩行者の通行を妨げず、ゆっくり見ることができる場所に配置する。
- ▶ 案内サインの存在が一見してわかること、誤解されにくいことに留意して表示の向き、設置場所を検討する。
- ▶ 観光マップとの整合や犬山城が北に位置することを考慮して、案内地図は北を上とする。



出典「観光地のためのひと目で分かる案内標識(平成 17 年)」(ぎょうせい)

〈案内サインの配置位置の例〉

〈良い例〉



方向動線に沿って設置されており、立ち止まって見ることができるスペースが地図の前にある（歩道上）

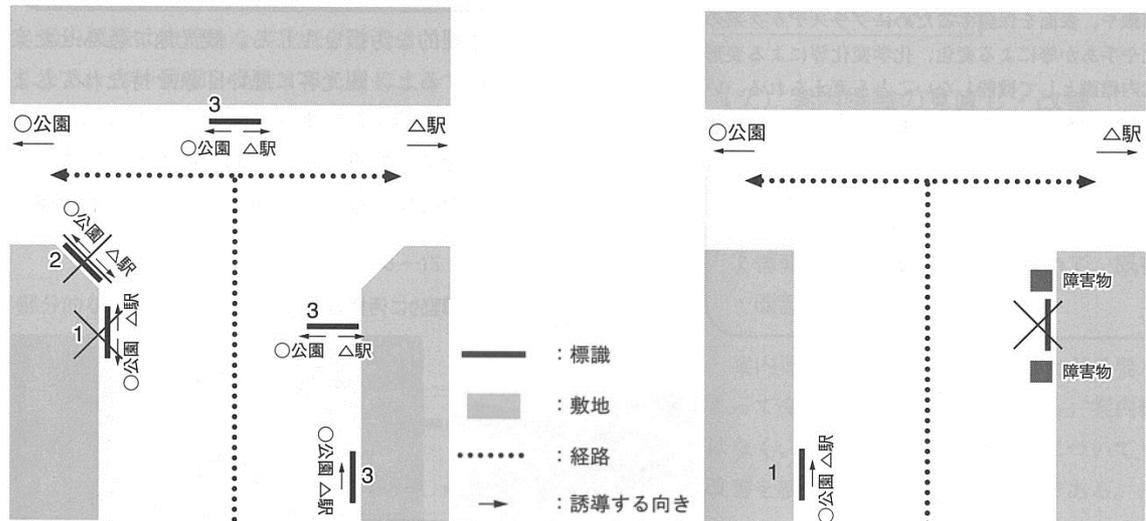
〈悪い例〉



方向動線に沿って設置されているが、立ち止まって見ることができるスペースが地図の前にない（車道上）

出典「道路の移動等円滑化整備ガイドライン(平成23年改訂版)」(大成出版社)

〈案内サインの配置位置の考え方(a)(b)〉



○交差部の設置位置 (a)

できるだけ3の位置に設置することが望ましい。1や2の位置においては、方向が混乱しやすいため、やむをえずこれらの位置に設置する場合は十分な配慮が必要である。

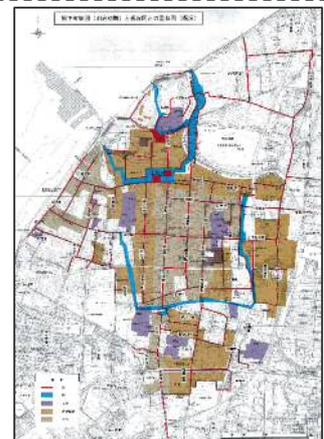
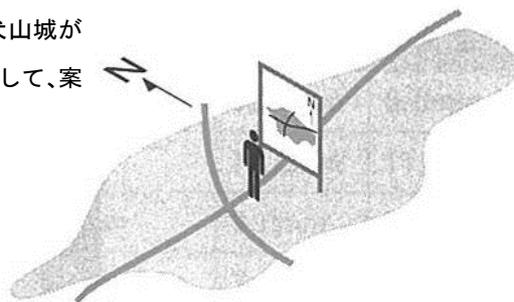
○交差部の設置位置 (b)

標識がを見つけやすいように障害物の陰にならない1の位置に設置する。特に駅周辺等の人通りの多い場所では通行の支障とならないことを前提に、見つけやすい位置に設置することが必要である。

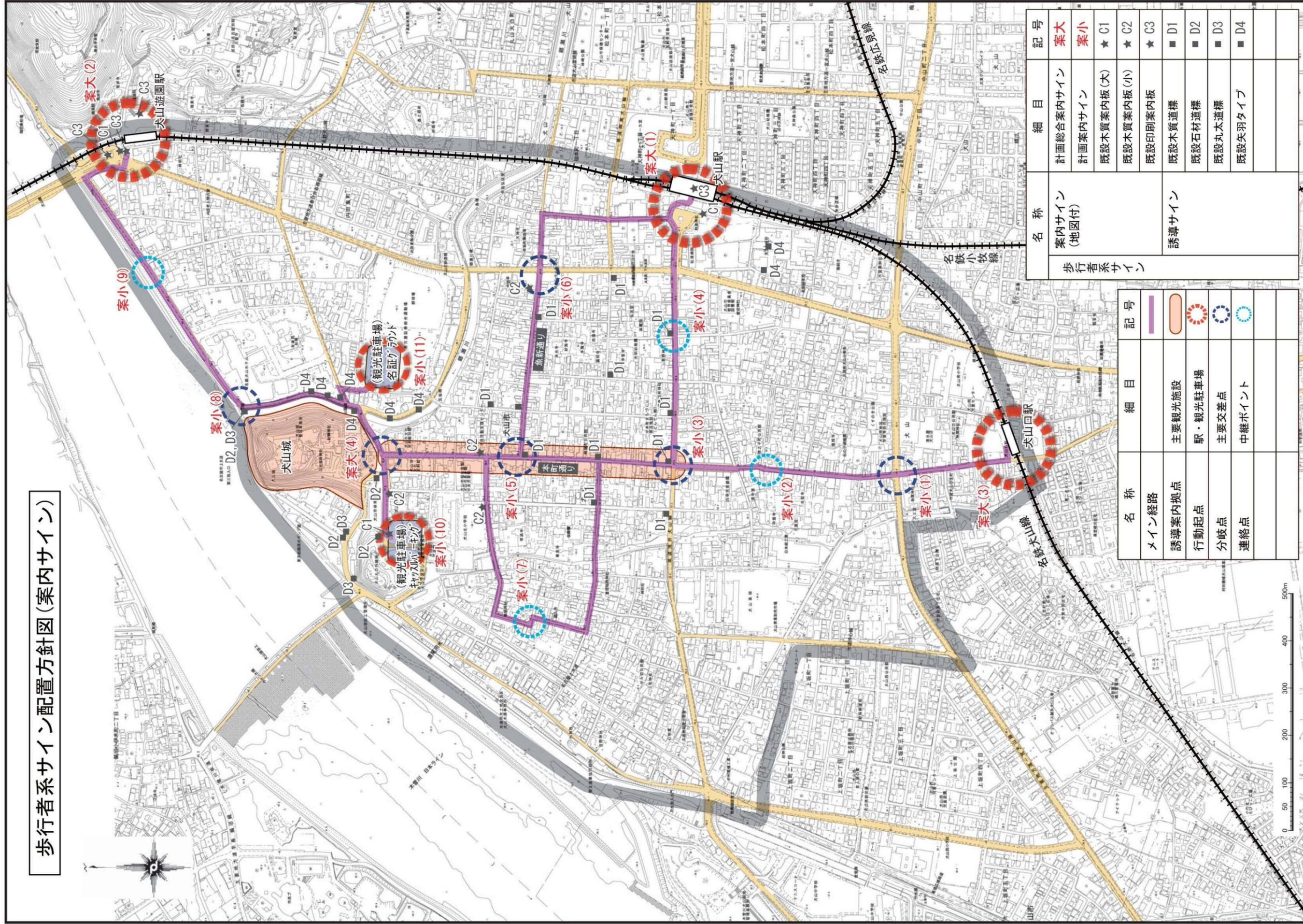
出典「観光活性化標識ガイドライン(平成17年)」(国土交通省)

〈案内地図の向き〉

○観光マップとの整合や犬山城が北に位置することを考慮して、案内地図は北を上とする。



歩行者系サイン配置方針図(案内サイン)



記号	細目	名称
案大	計画総合案内サイン	案内サイン (地図付)
案小	計画案内サイン	
★ C1	既設木質案内板(大)	誘導サイン
★ C2	既設木質案内板(小)	
★ C3	既設印刷案内板	
■ D1	既設木質道標	
■ D2	既設石材道標	
■ D3	既設丸太道標	
■ D4	既設矢羽タイプ	

歩行者系サイン

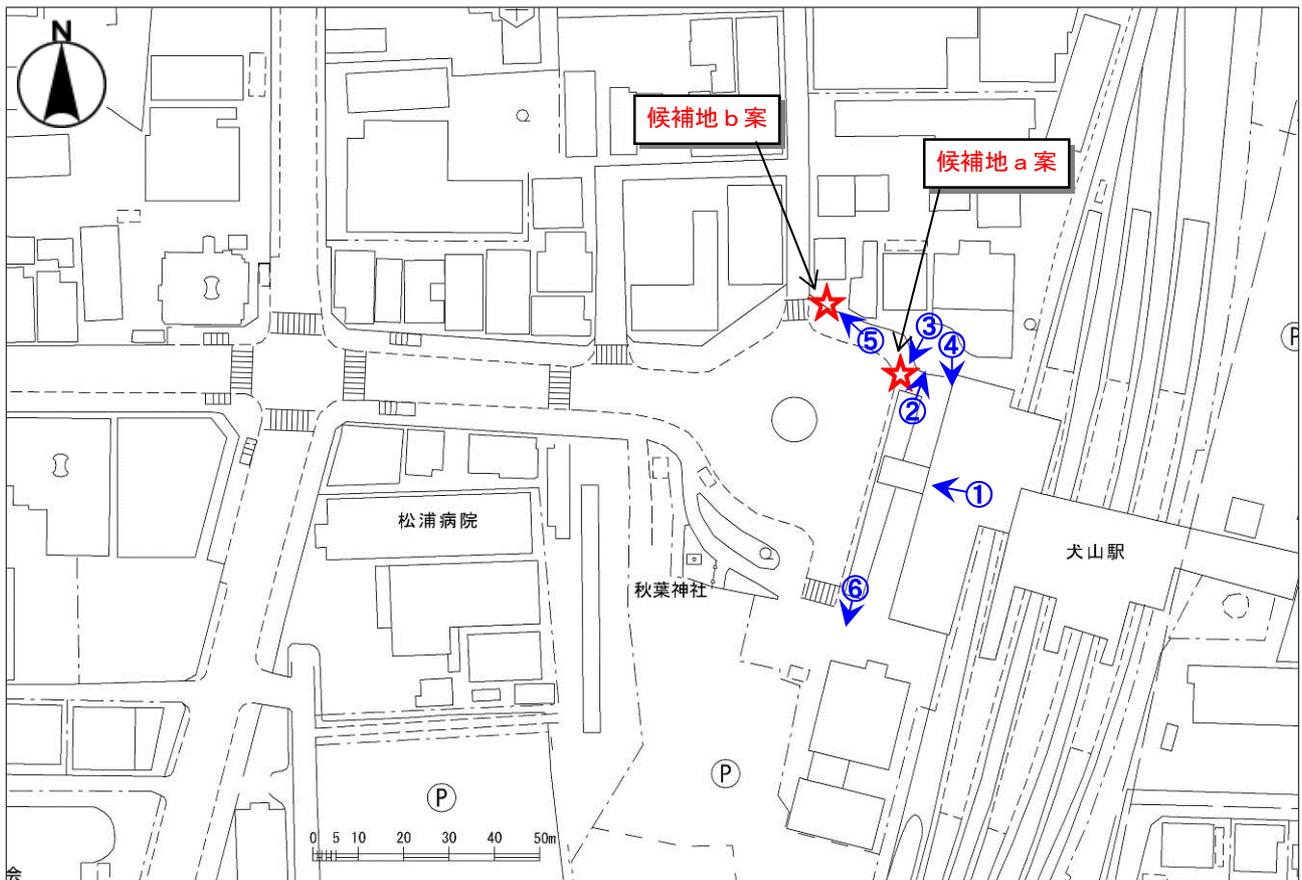
名称	細目	記号
メイン経路		—
誘導案内拠点	主要観光施設	—
行動起点	駅・観光駐車場	○
分岐点	主要交差点	○
連絡点	中継ポイント	○



### (3) 案内サインの設置検討

#### ①計画総合案内サインの設置箇所の検討

##### ①-1 犬山駅の現状【配置方針図の案大(1)】



①地点



②地点



③地点



④地点



⑤地点



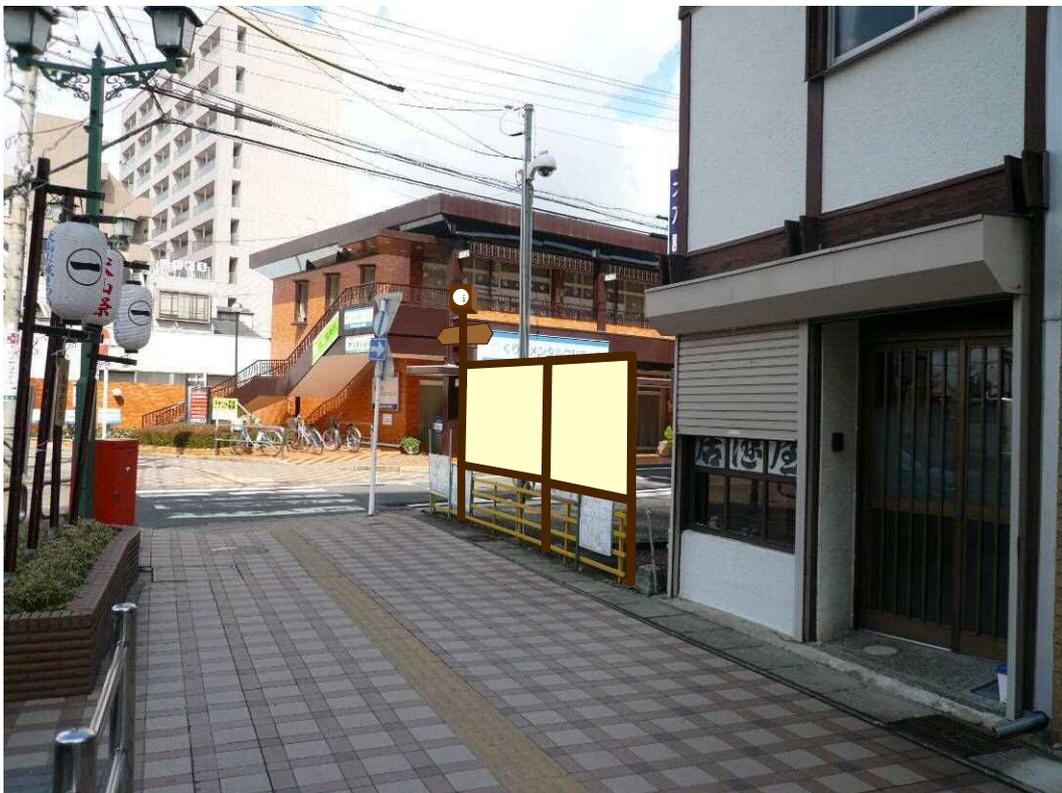
⑥地点

①-1 犬山駅の配置案【配置方針図の案大(1)】

- ・自由通路から犬山城へは北側歩道を誘導しているため、総合案内サインは北側に配置することが望ましい。

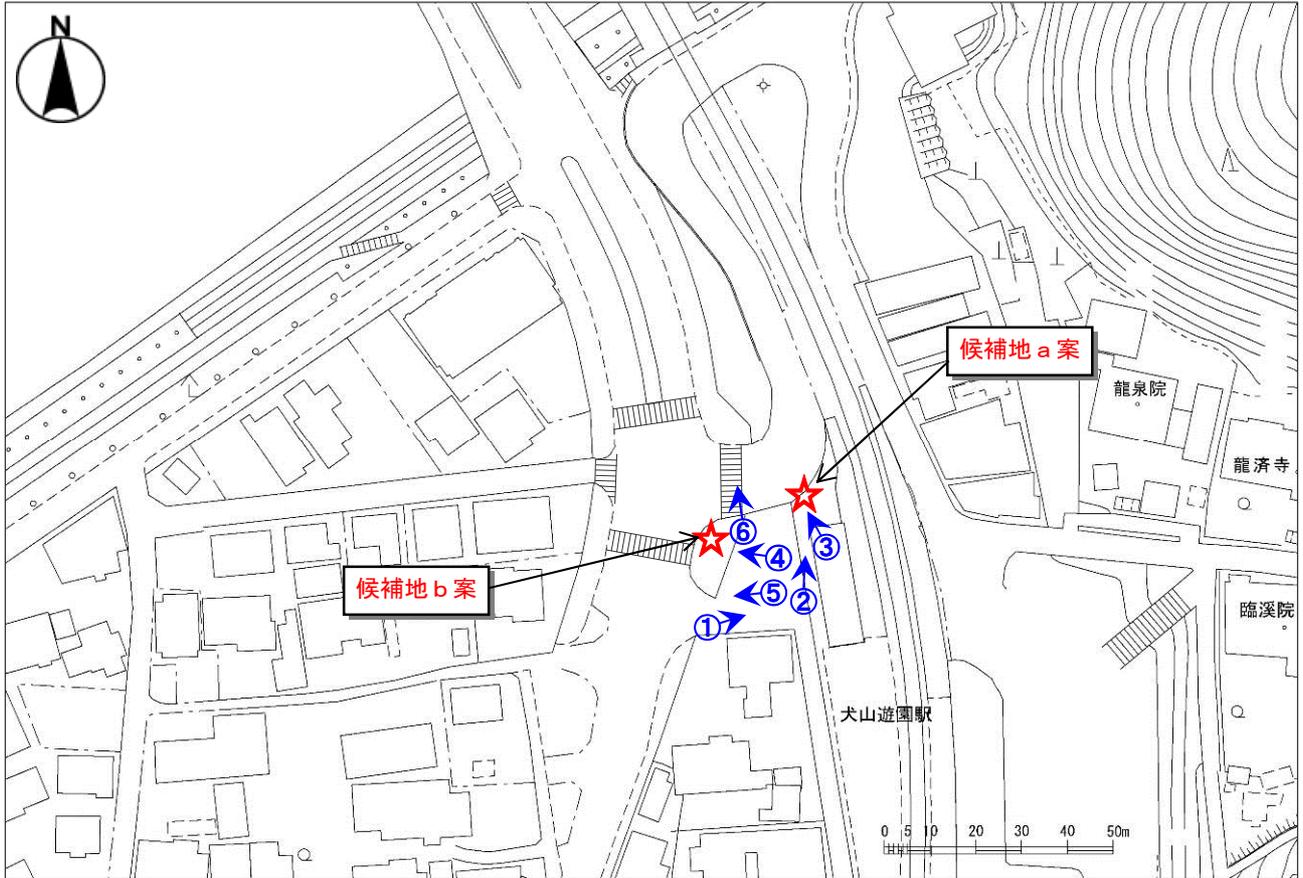


▲ a 案…ロータリーへの見通しが遮られる



▲ b 案…歩道幅員を確保するためには、設置場所が私有地内になる。

①-2 犬山遊園駅の現状【配置方針図の案大(2)】



①地点



②地点



③地点



④地点



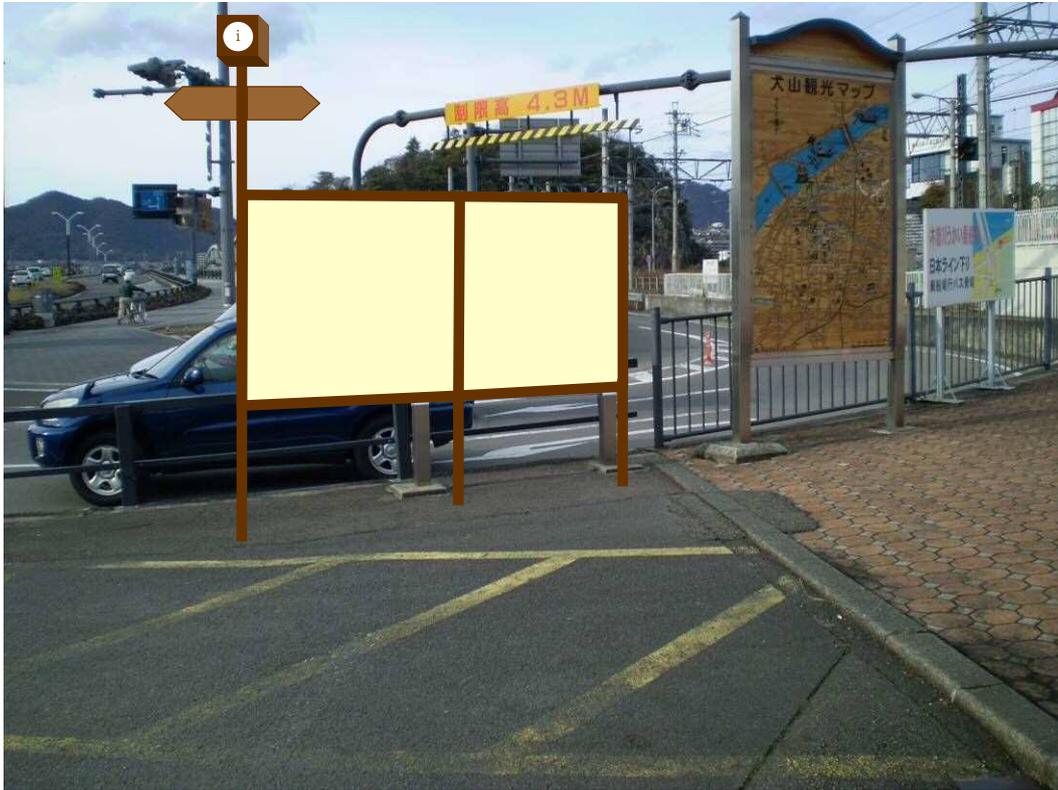
⑤地点



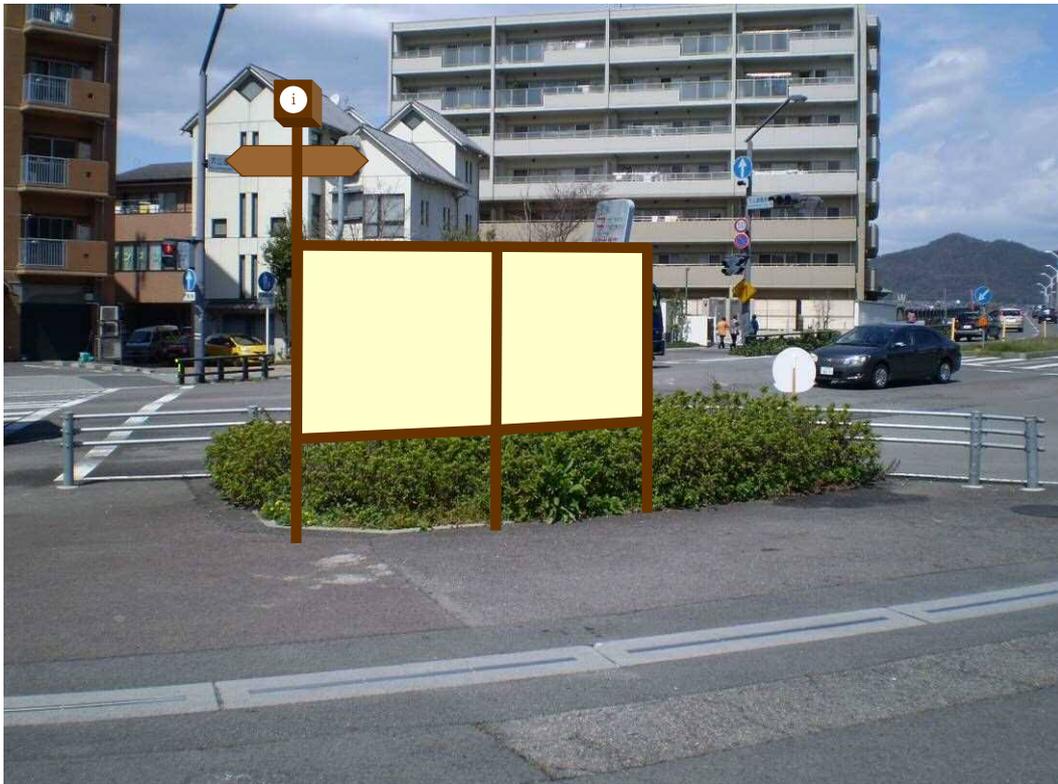
⑥地点

①-2 犬山遊園駅の配置案【配置方針図の案大(2)】

- ・犬山遊園駅の西口の改札口から視覚できる位置に、総合案内サインを配置することが望ましい。

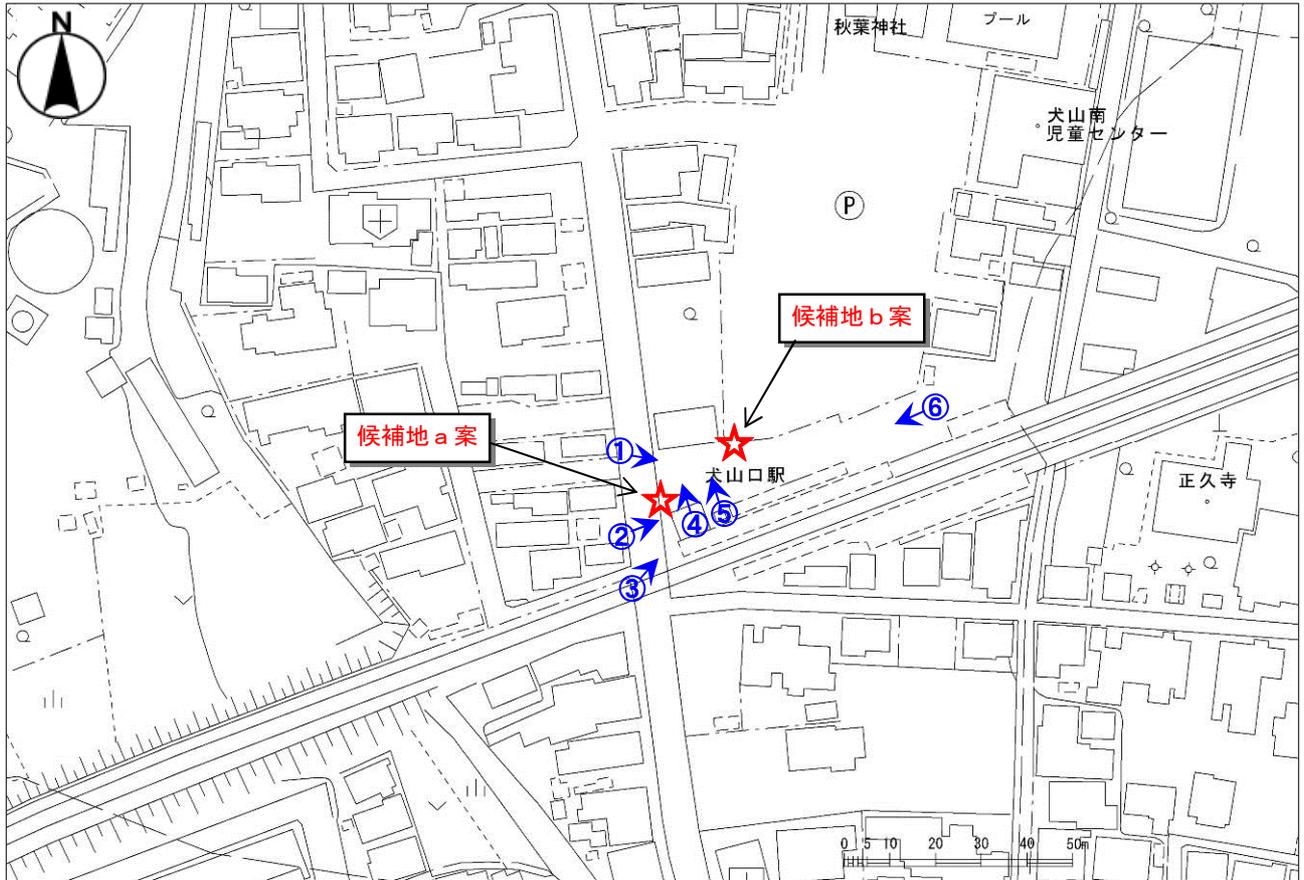


▲ a 案…既存案内サインの撤去。



▲ b 案…ドライバーの見通しに留意。

①-3 犬山口駅の現状【配置方針図の案大(3)】



①地点



②地点



③地点



④地点



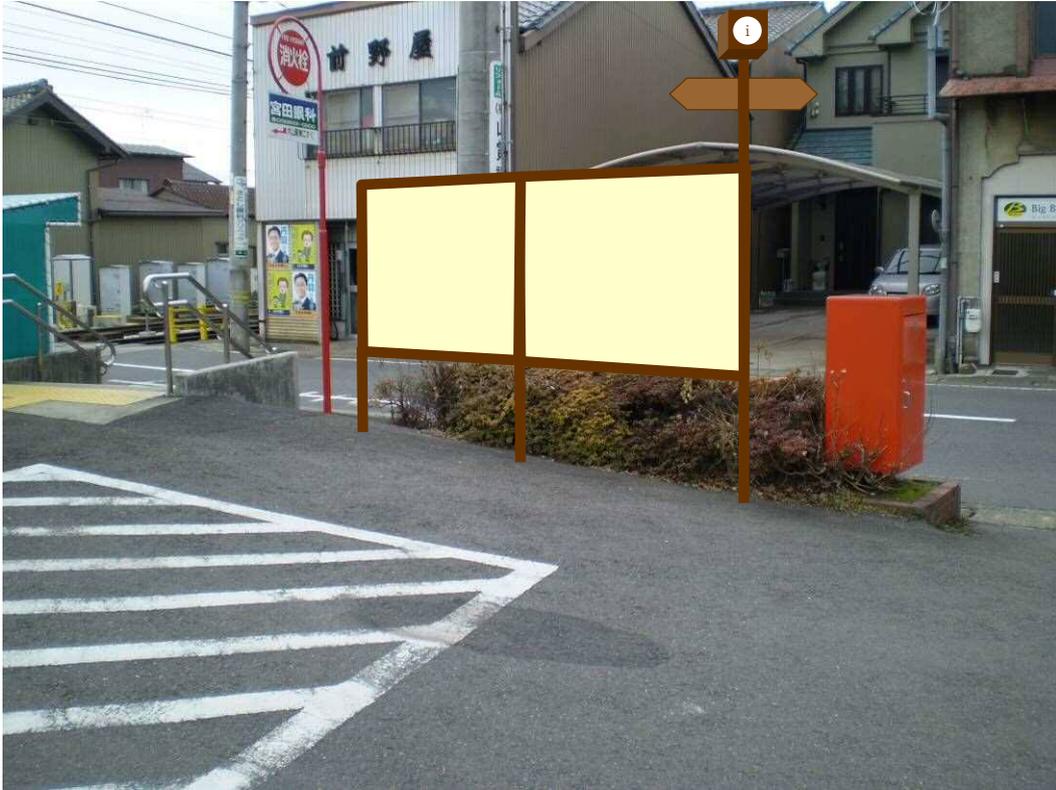
⑤地点



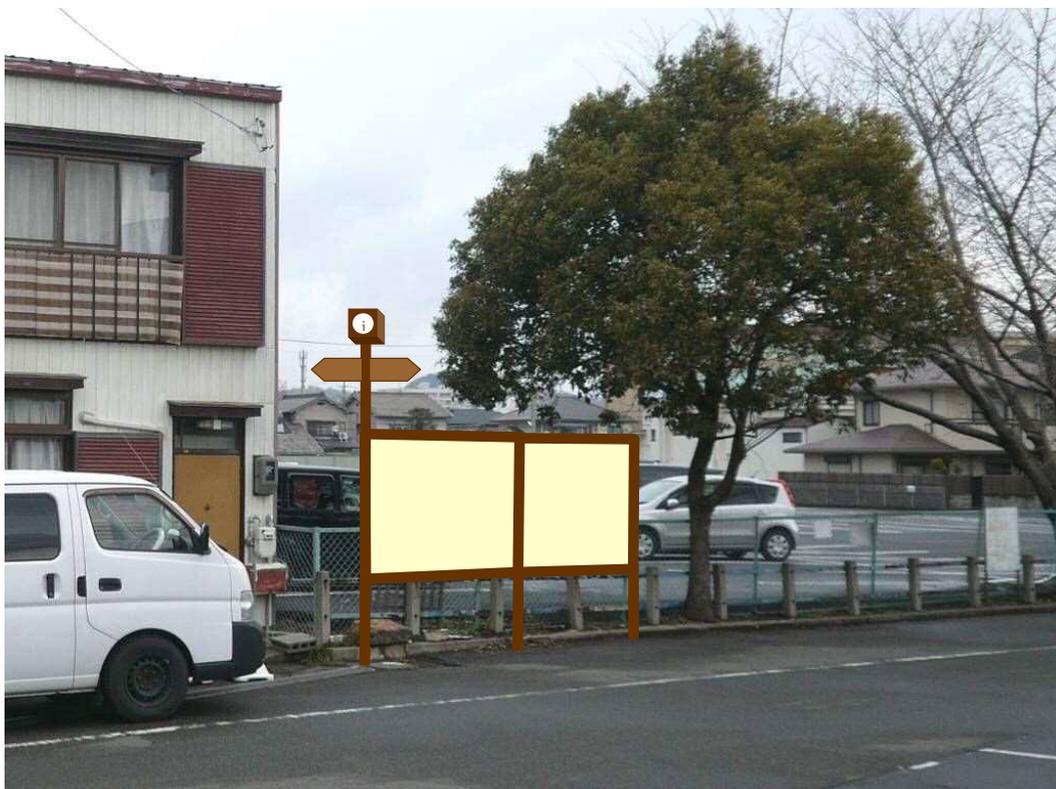
⑥地点

①-3 犬山口駅の配置案【配置方針図の案大(3)】

- ・犬山口駅の改札口から視覚できる位置に、総合案内サインを配置することが望ましい。

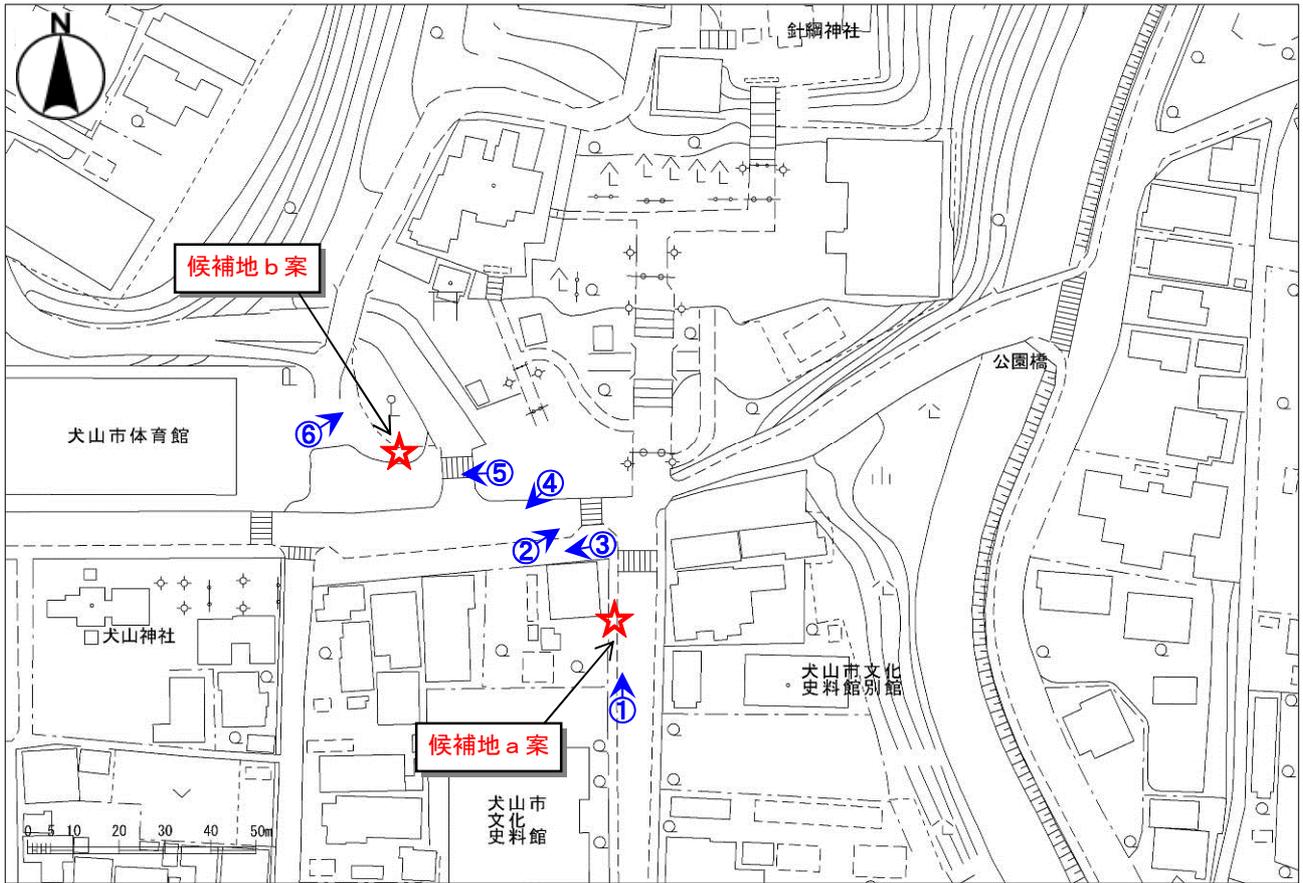


▲ a 案…名鉄用地の可能性があり、その場合は協議が必要。



▲ b 案…誘導する本町通り線から離れた場所になる。

①-4 犬山城前付近の現状【配置方針図の案大(4)】



①地点



②地点



③地点



④地点



⑤地点



⑥地点

①-4 犬山城前付近の配置案【配置方針図の案大(4)】

- ・本町通りの突き当たり付近への総合案内サインの設置が望まれるが、お祭り時の道路の使用形態に考慮が必要。



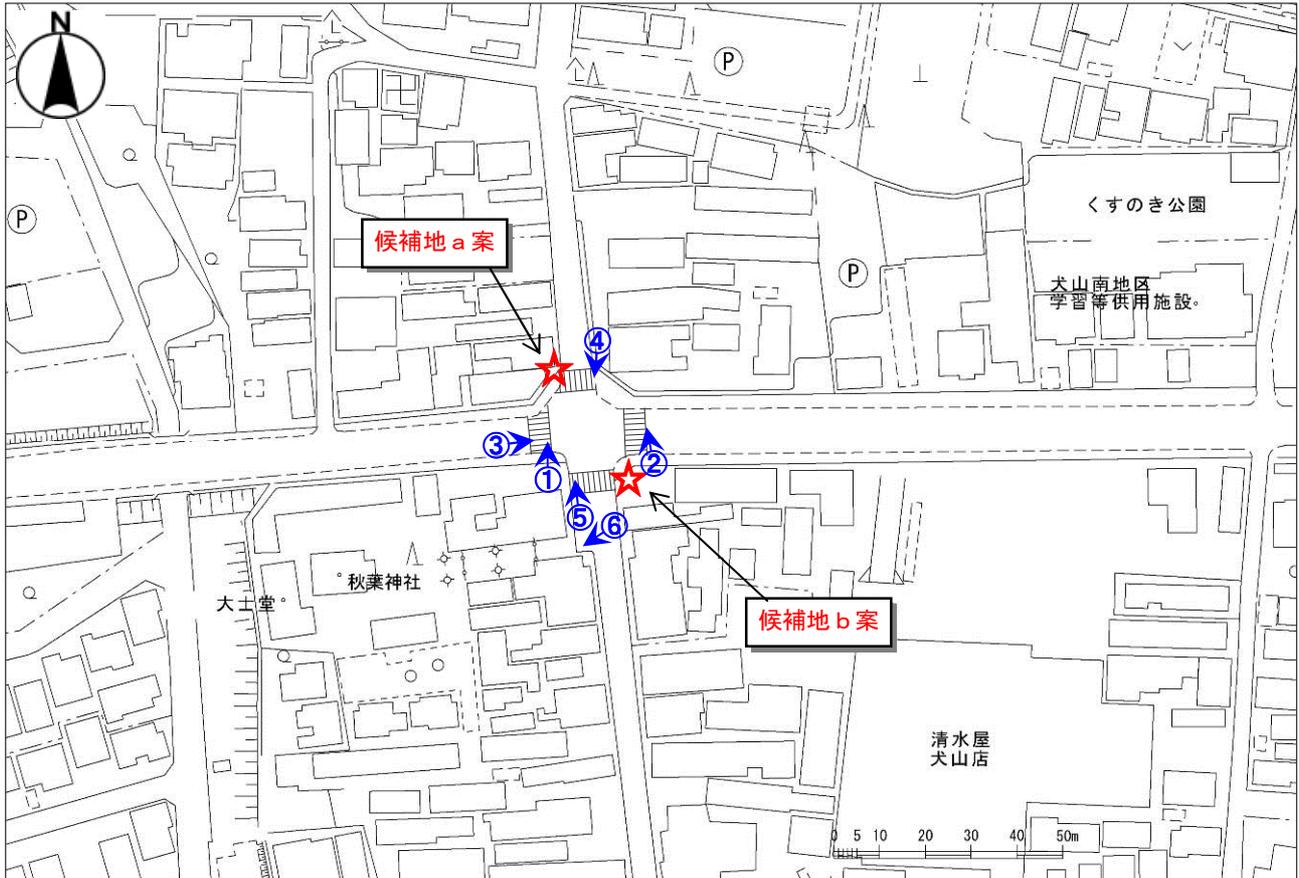
▲ a 案…本町通りの歩道に設置した場合。



▲ b 案…体育館前の広場に設置した場合。

②計画案内サインの設置箇所の検討

②-1 出来町交差点付近の現状【配置方針図の案小(1)】



①地点



②地点



③地点



④地点



⑤地点



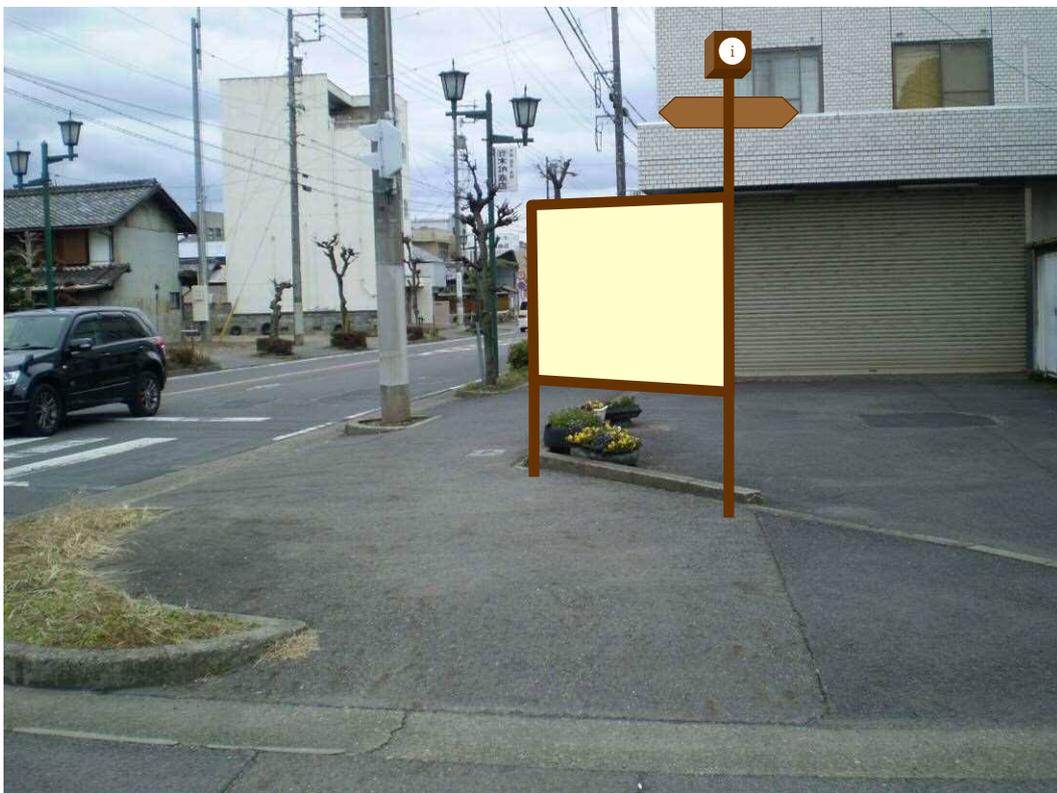
⑥地点

②-1 出来町交差点付近の配置案【配置方針図の案小(1)】

- ・城下町地区の南の入口であるため、案内サインの設置が望まれる。

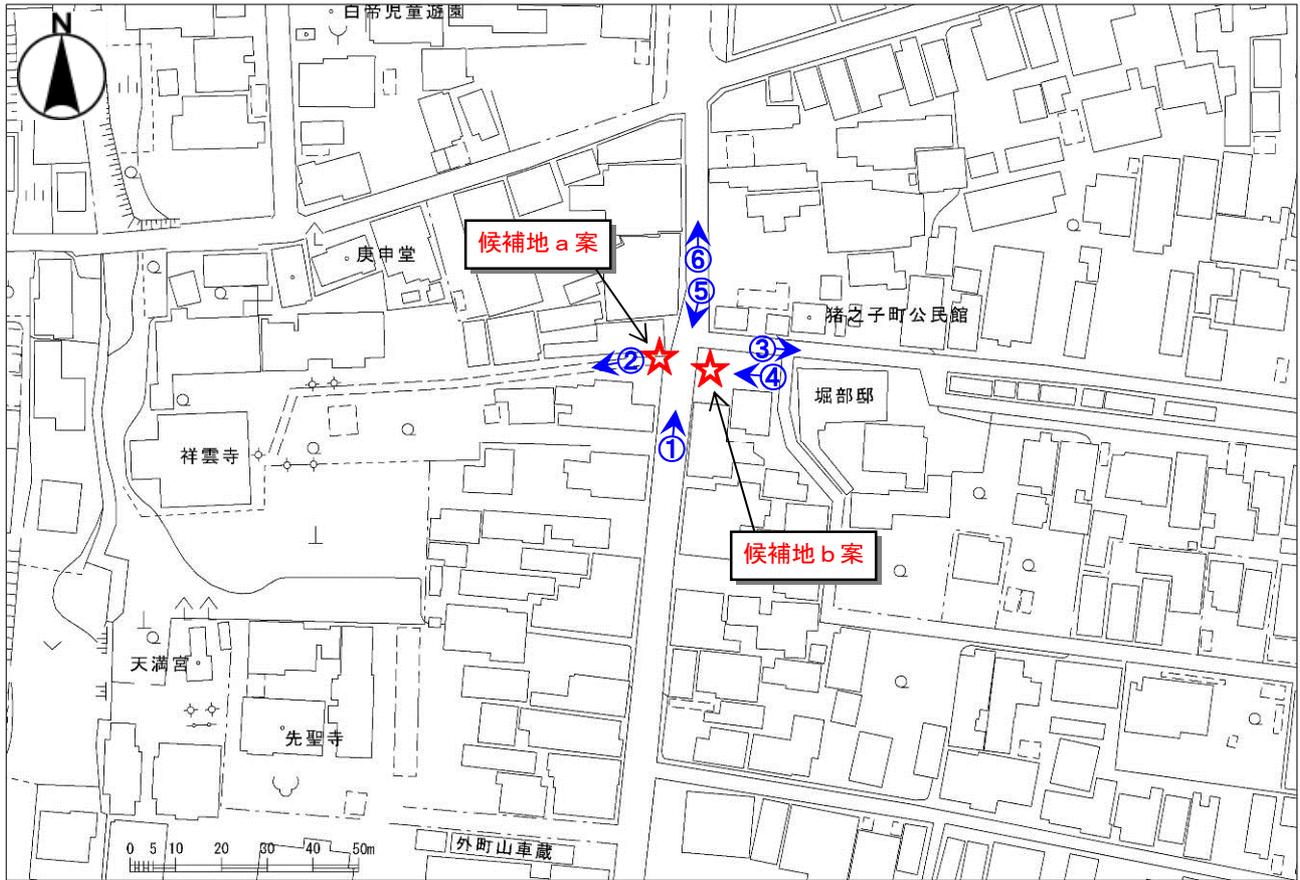


▲ a 案…設置場所の前に車が駐車しないような対策が必要。



▲ b 案…歩道内に設置できるが、案内地図が南を向いている（犬山城が背面）。

②-2 堀部邸付近の現状【配置方針図の案小(2)】



①地点



②地点



③地点



④地点



⑤地点



⑥地点

②-2 堀部邸付近の配置案【配置方針図の案小(2)】

- ・道路がクランクになって景観的なアクセントとなっているとともに、堀部邸の案内もできるため中継ポイントに相応しい。

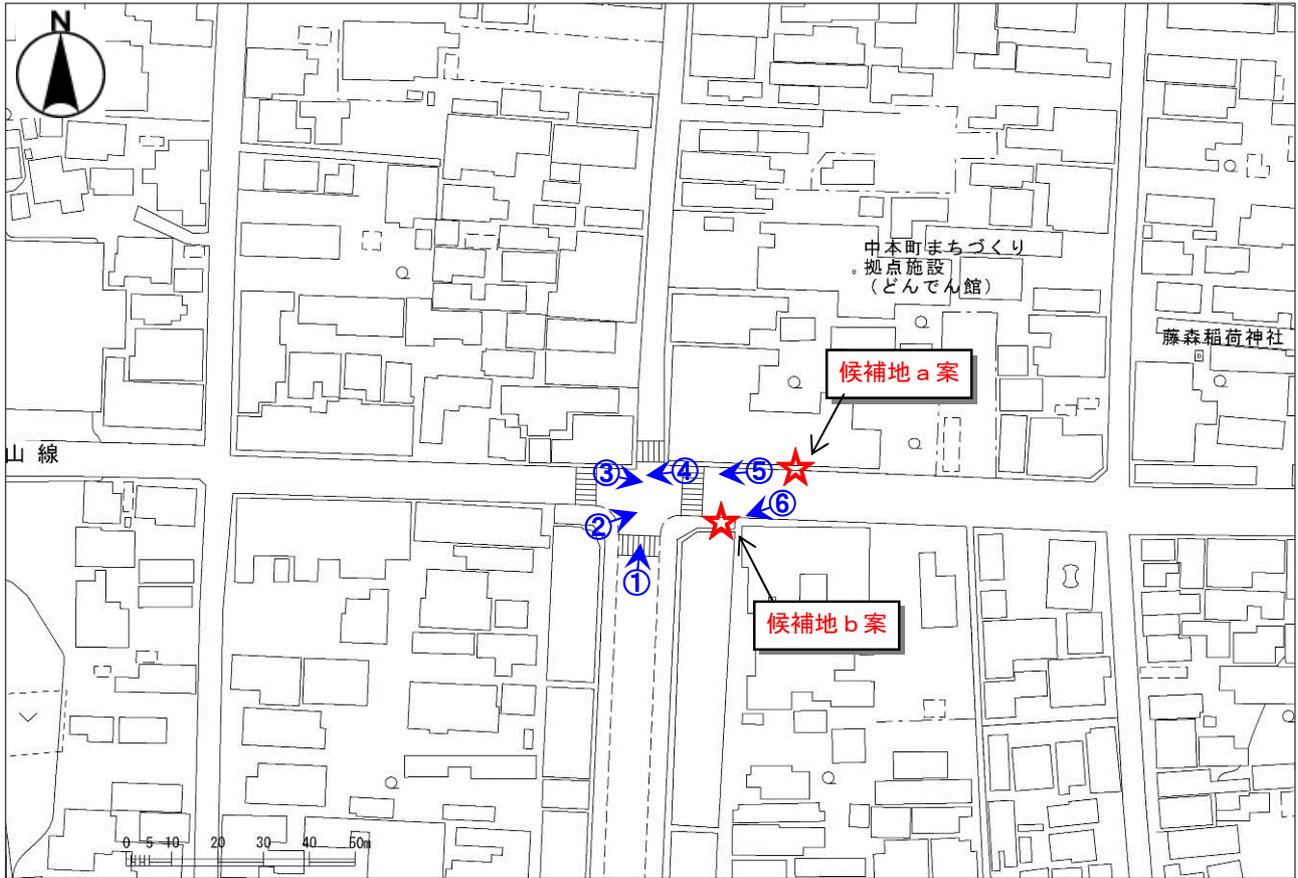


▲ a 案…神社の参道のため、神社の協力が必要。



▲ b 案…歩行者の安全性を確保するためには、民有地の駐車場1台分が必要。

②-3 本町交差点付近の現状【配置方針図の案小(3)】



①地点



②地点



③地点



④地点



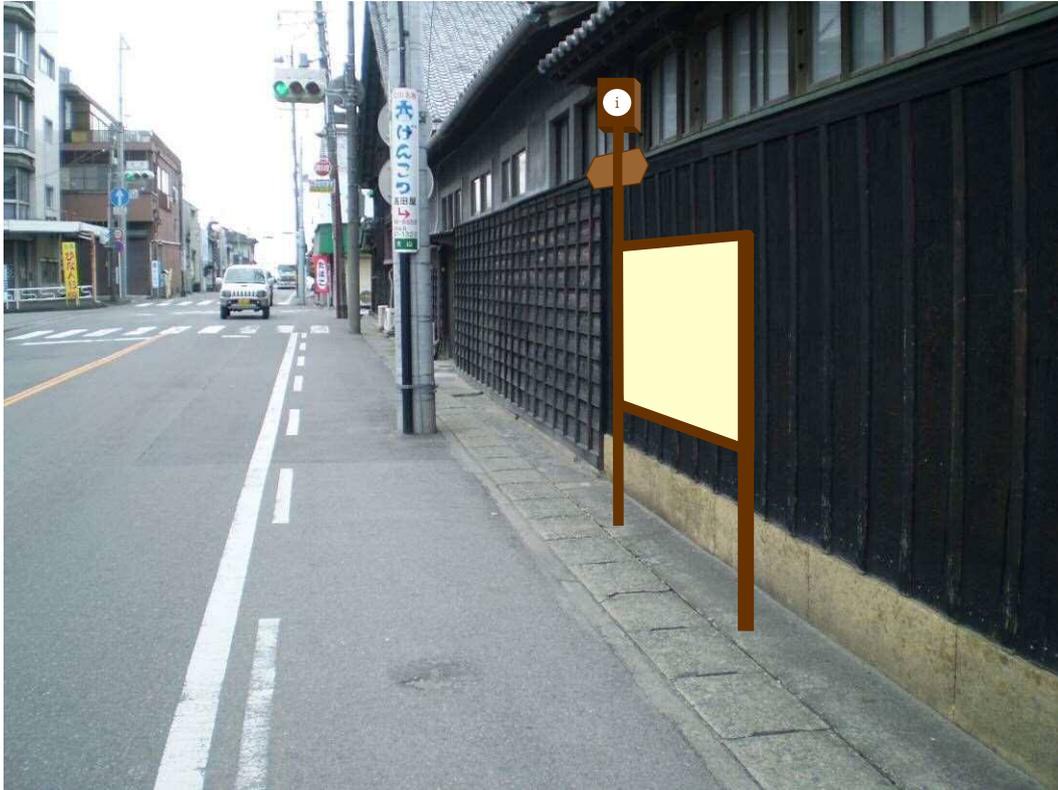
⑤地点



⑥地点

②-3 本町交差点の配置案【配置方針図の案小(3)】

- ・駅前通りと本町通りの交差点で、本町通り及び犬山城へ誘導する重要な分岐点であるため、案内サインの設置が望まれるものの、設置スペースが限られている。

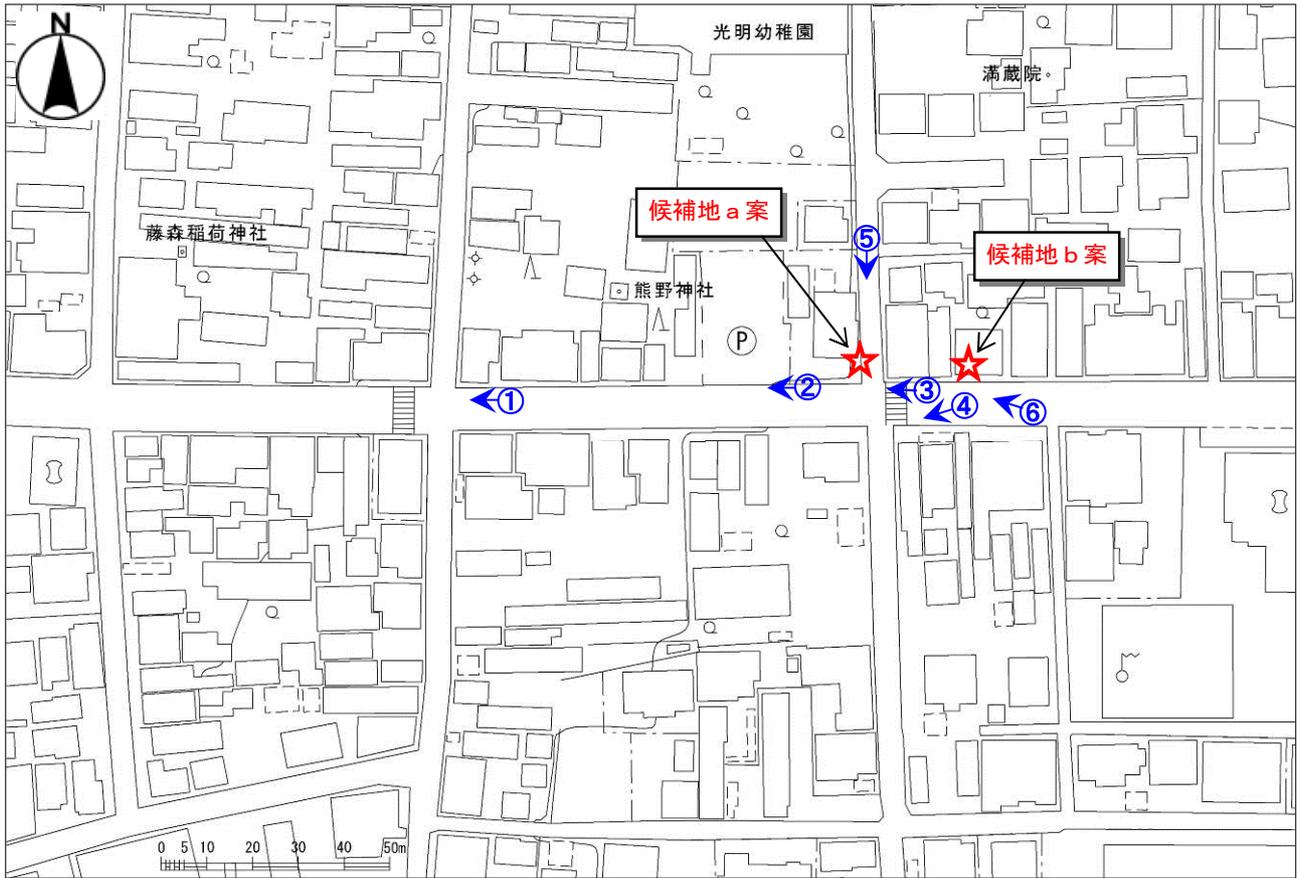


▲ a 案…案内サインを見る人を避けて、歩行者が車道側にはみ出ないように安全対策が必要。



▲ b 案…駅前通りからの来訪者が地図を見るためには、回り込んでから見ることになる。

②-4 駅前通りの中間地点の現状【配置方針図の案小(4)】



①地点



②地点



③地点



④地点



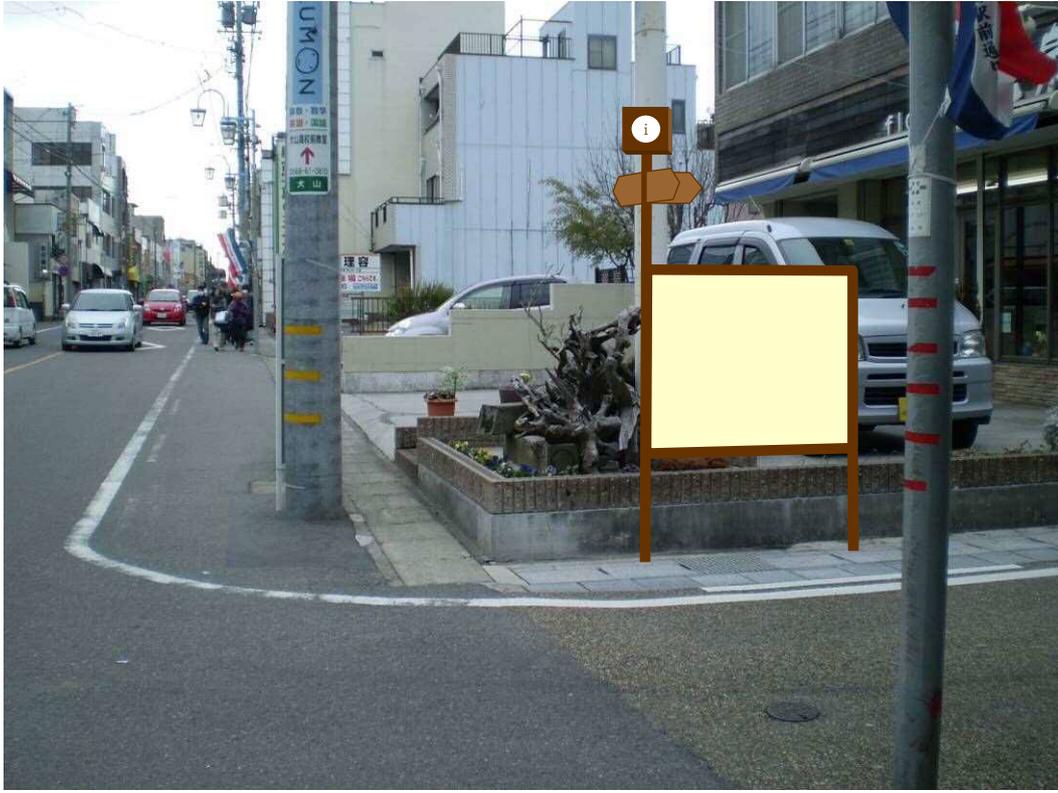
⑤地点



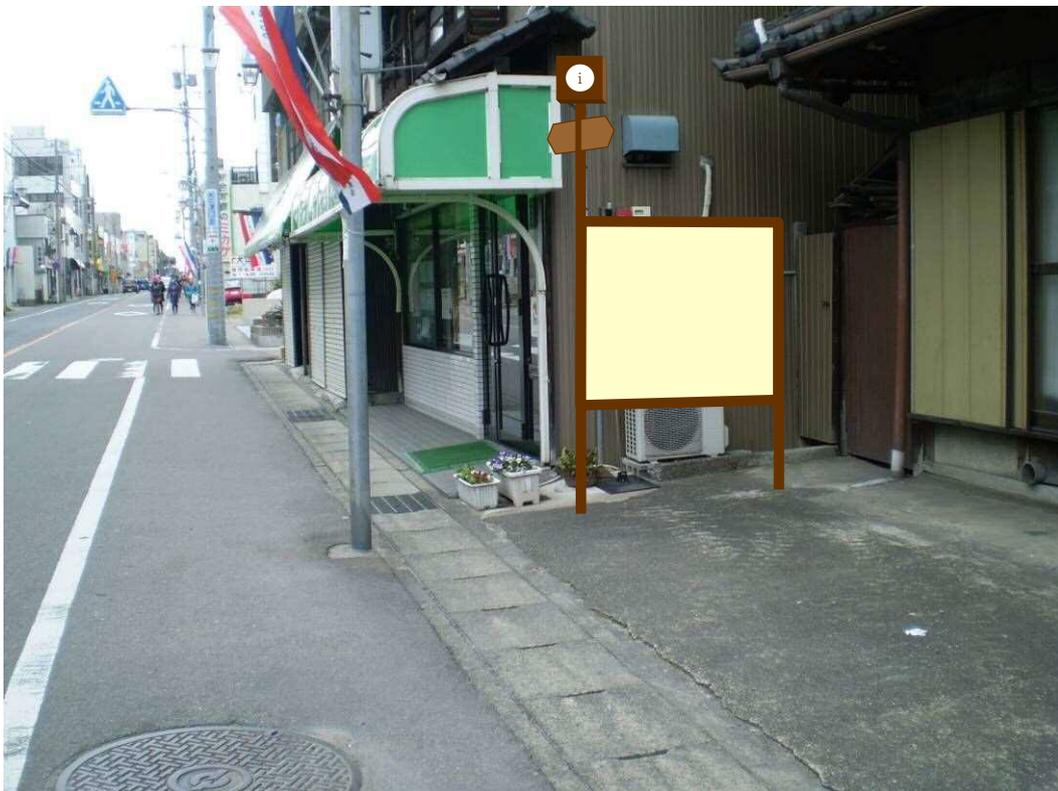
⑥地点

②-4 駅前通りの中間地点の配置案【配置方針図の案小(4)】

- ・犬山駅と本町通りをつなぐ中継ポイントであるとともに、寺町への案内も兼ねることから、案内サインは駅前通りの北側に設置するのが望ましい。

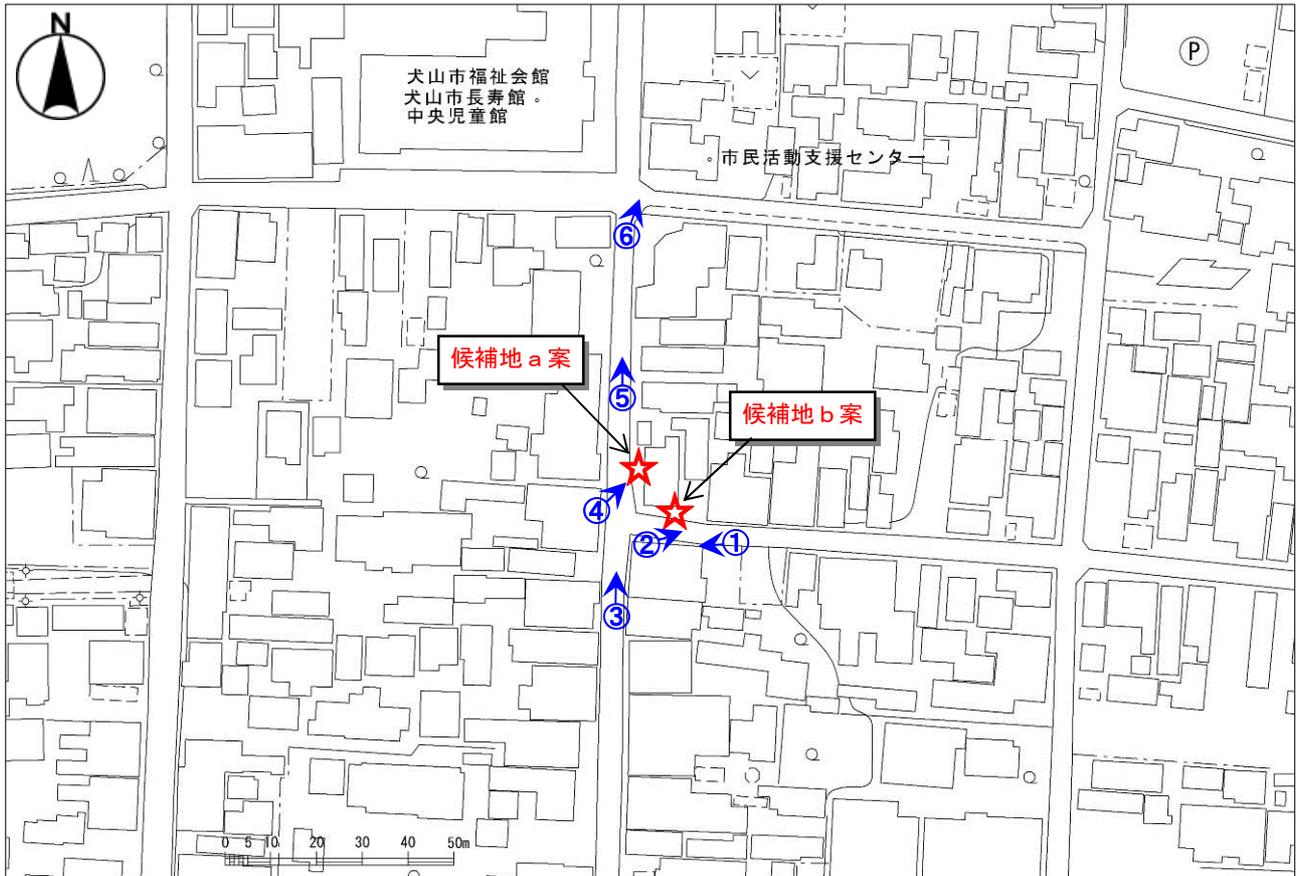


▲ a 案…道路用地に設置する場合は、側溝の切り廻しが必要。



▲ b 案…民有地内の隣地境界であるため、隣り合う二人の地権者の協力が必要。

②-5 札の辻付近の現状【配置方針図の案小(5)】



①地点



②地点



③地点



④地点



⑤地点



⑥地点

②-5 札の辻付近の配置案【配置方針図の案小(5)】

- ・本町通りと魚新通りの交差点であるとともに、飲食のできる店舗が集中し、多くの観光客が集まるポイントとなっている。

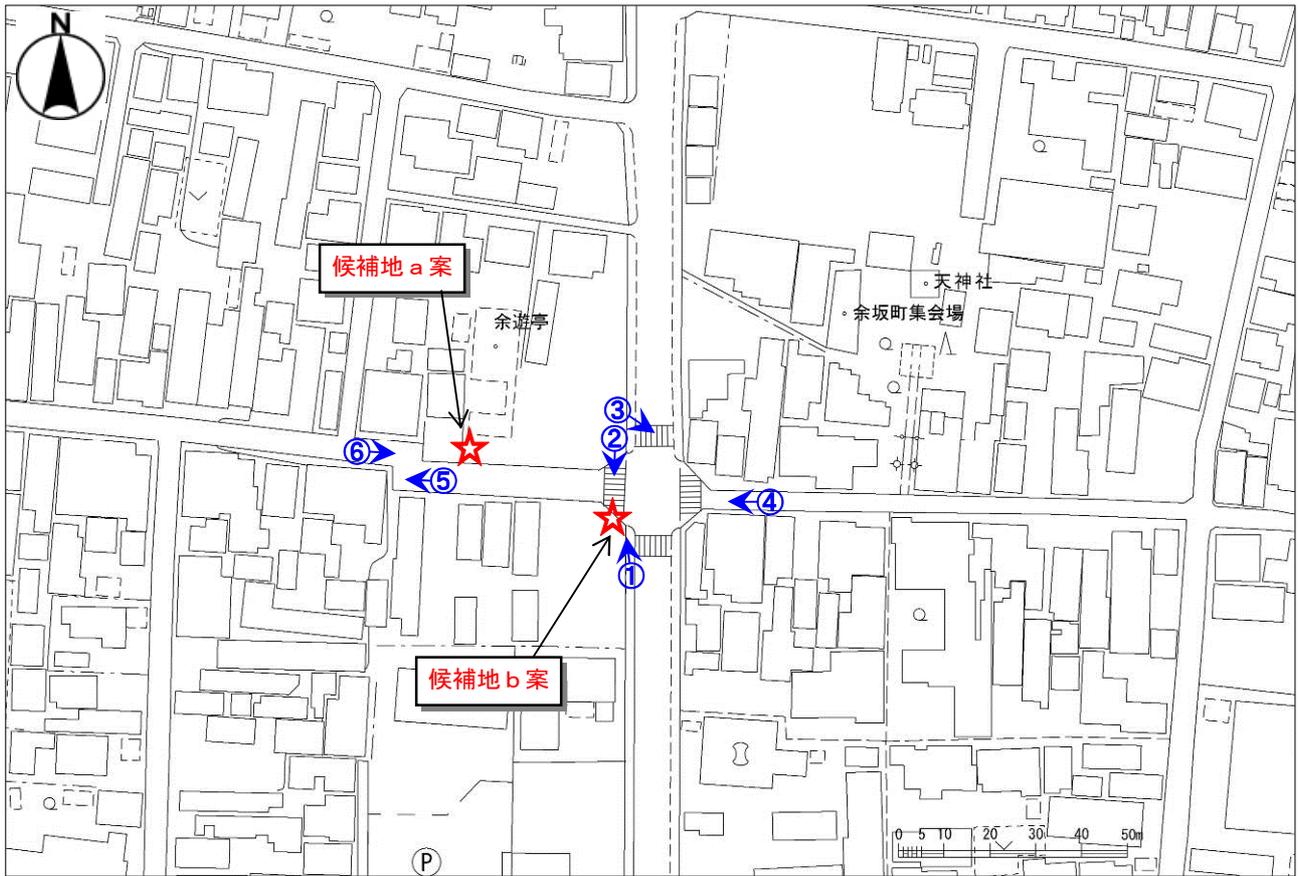


▲ a 案…様々なサインが立ち並び煩雑な景観になるために整理が必要。



▲ b 案…このサイン設置場所は、現在、休日は屋台が出店している。

②-6 余坂交差点付近の現状【配置方針図の案小(6)】



①地点



②地点



③地点



④地点



⑤地点



⑥地点

②-6 余坂交差点付近の配置案【配置方針図の案小(6)】

- ・魚新通りの入口、犬山駅への誘導を目的とした案内サインの設置が望まれる。

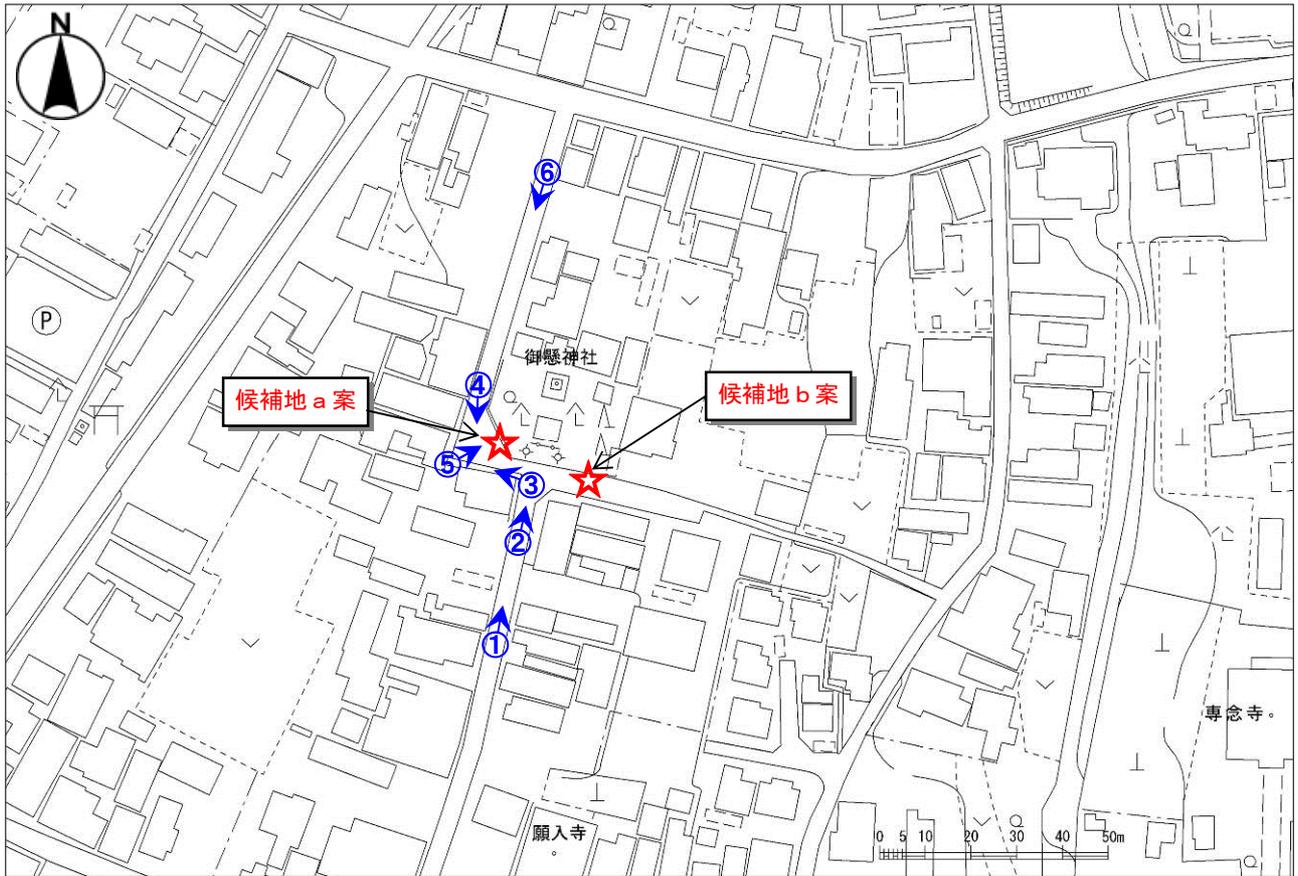


▲ a 案…余遊亭の敷地内に設置した場合(余坂交差点から視覚できる)。



▲ b 案…信号柱と照明柱に挟まれた場所。

②-7 御懸神社付近の現状【配置方針図の案小(7)】



①地点



②地点



③地点



④地点



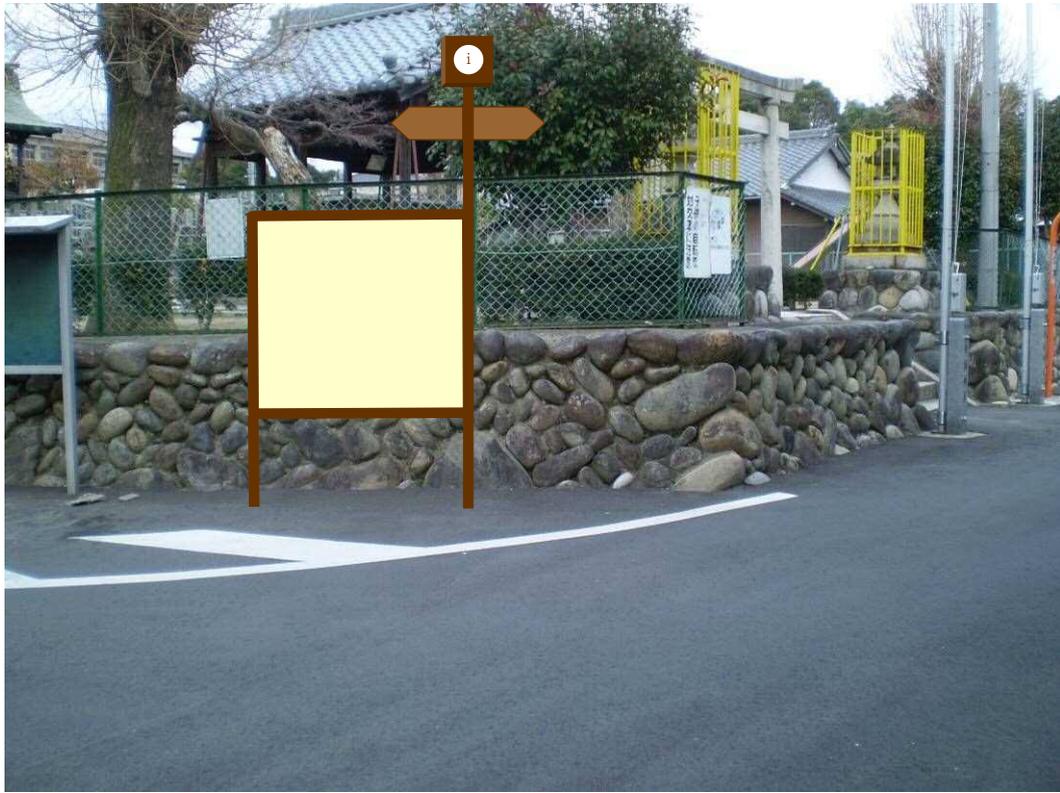
⑤地点



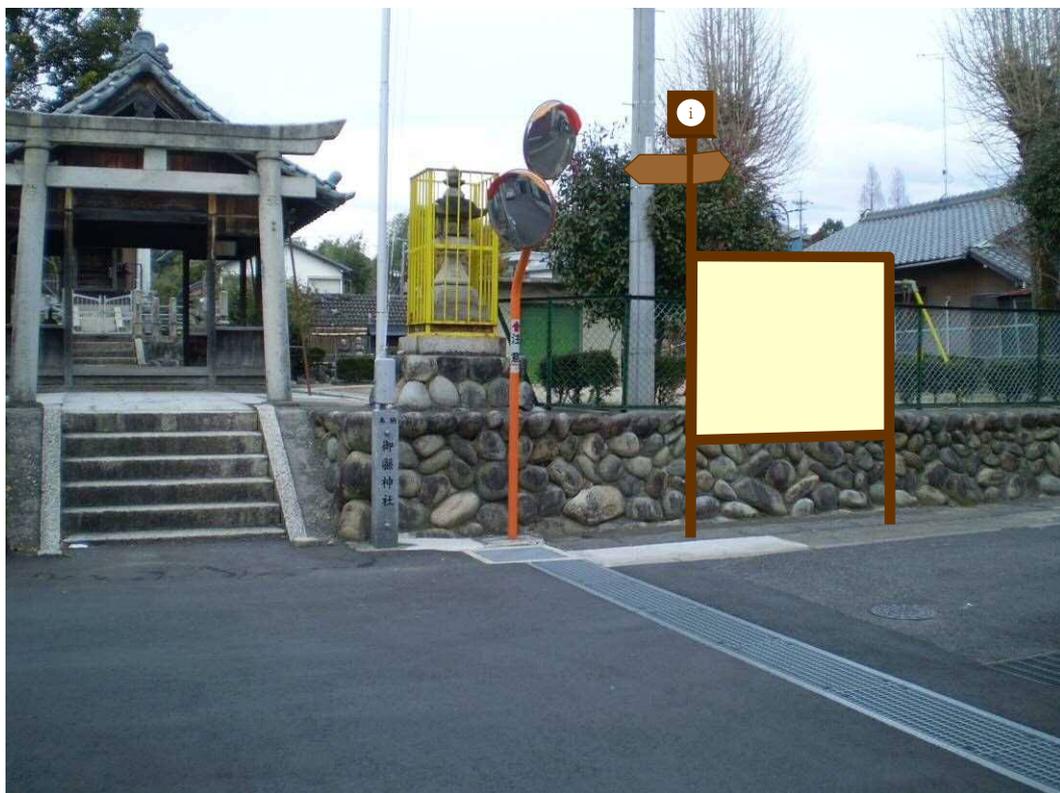
⑥地点

②-7 御懸神社付近の配置案【配置方針図の案小(7)】

- ・ 神社参道とクランクした道路が景観的なアクセントとして効いており、城下町地区の西側周遊ルートの中継点として案内サインを設置することが考えられる。

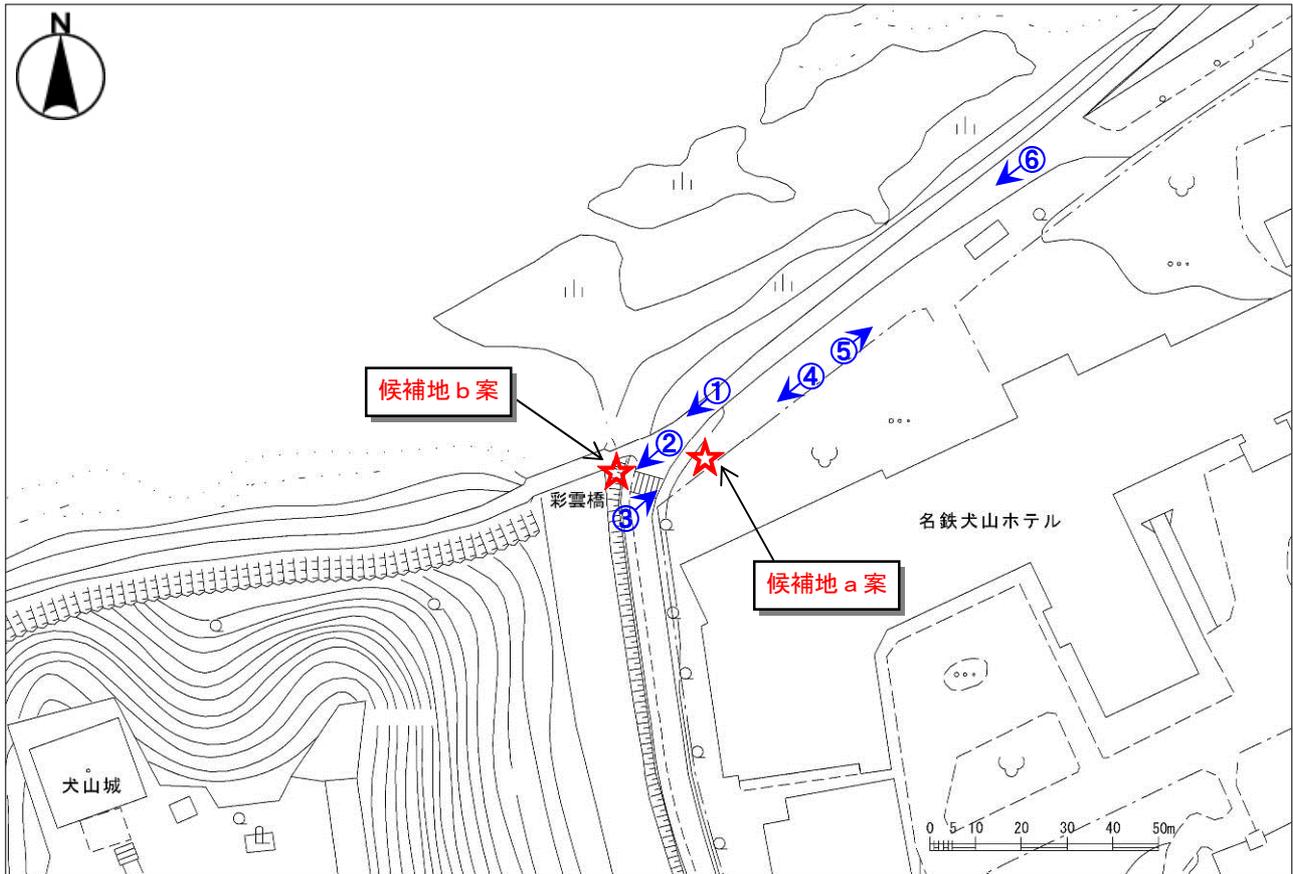


▲ a 案…隅切り部に設置した場合



▲ b 案…神社正面の東側に設置した場合。

②-8 彩雲橋付近の現状【配置方針図の案小(8)】



①地点



②地点



③地点



④地点



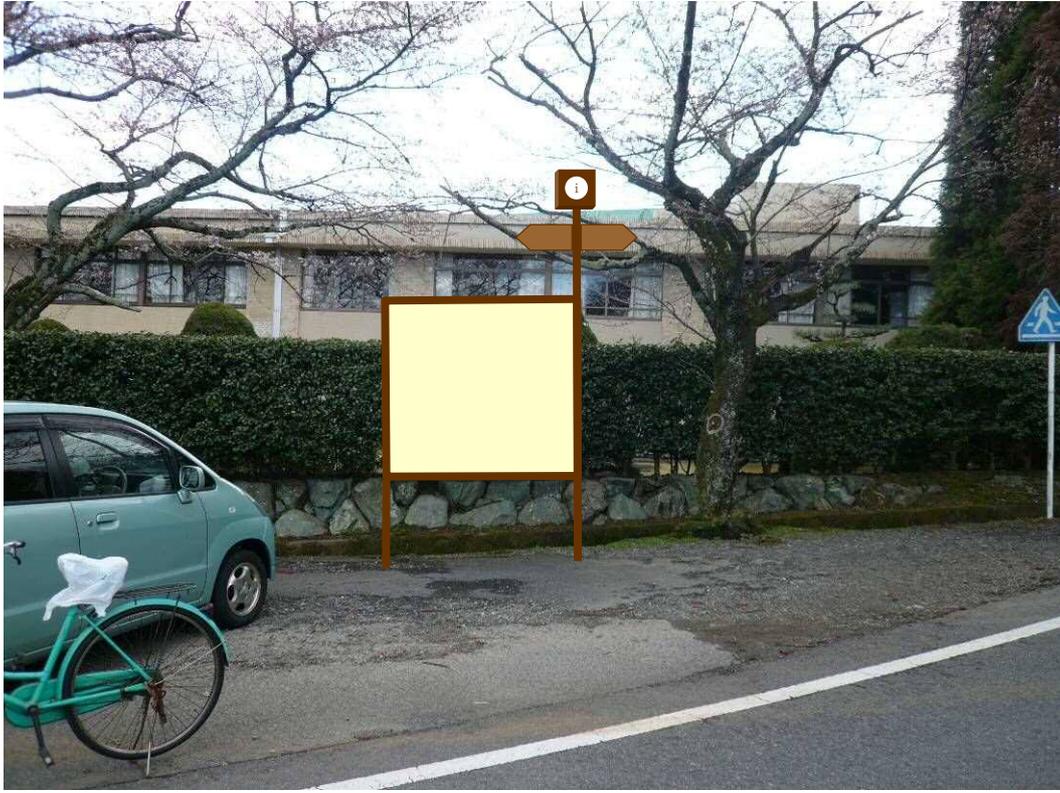
⑤地点



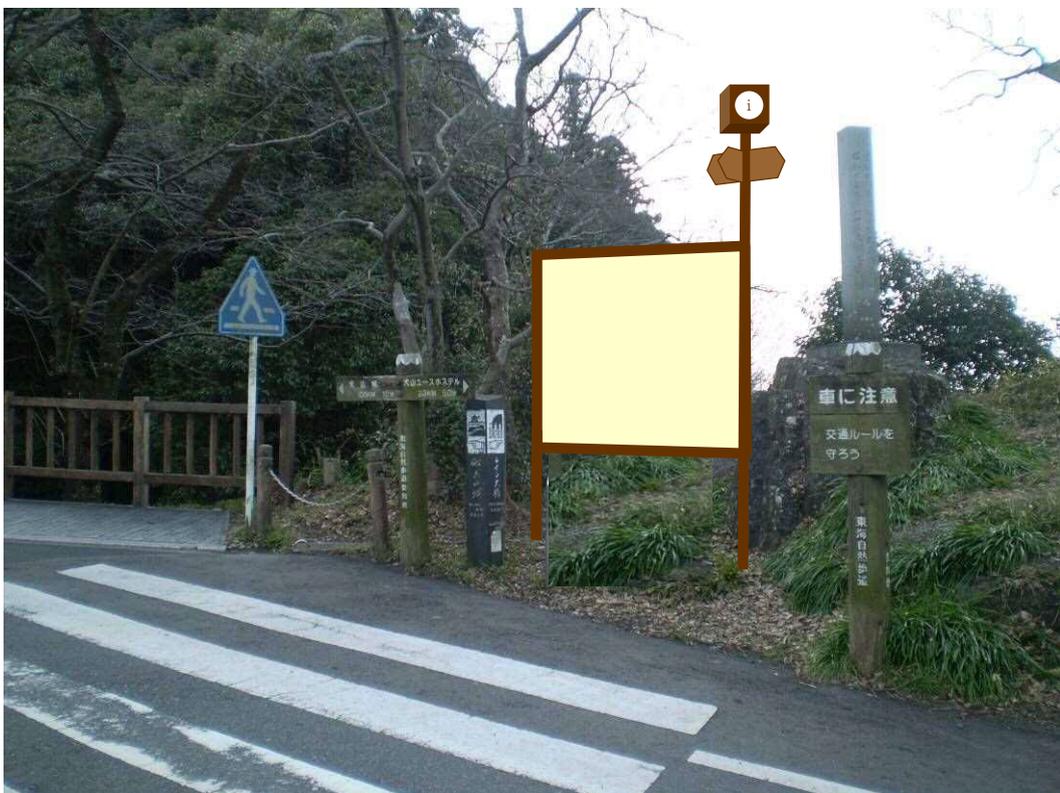
⑥地点

②-8 彩雲橋付近の配置案【配置方針図の案小(8)】

- ・木曾川河畔遊歩道を歩いてきた観光客が、犬山城とライン大橋に行き先が分かれる分岐点であり、案内サインの設置が望まれる。



▲ a 案…車に駐車されないような安全対策が必要。



▲ b 案…視認性に優れるものの、歩行者の滞留スペースは狭い。

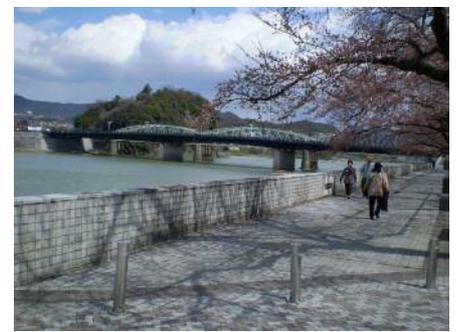
②-9 木曾川河畔遊歩道の間地点の現状【配置方針図の案小(9)】



①地点



②地点



③地点



④地点



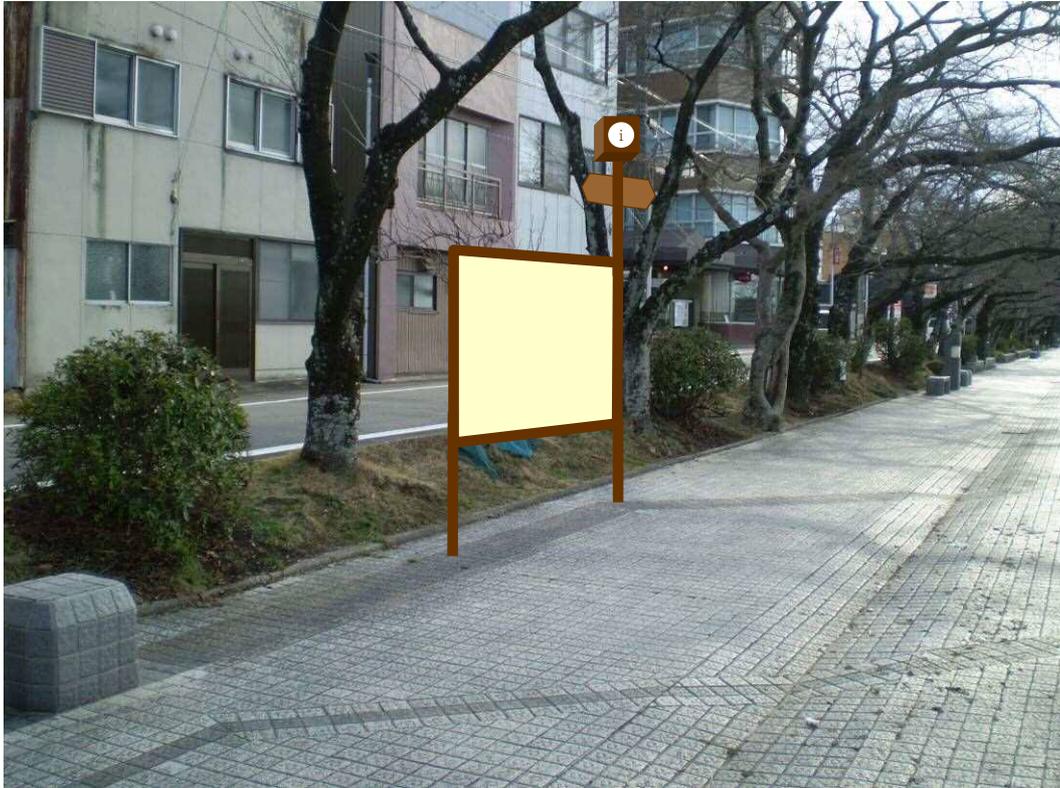
⑤地点



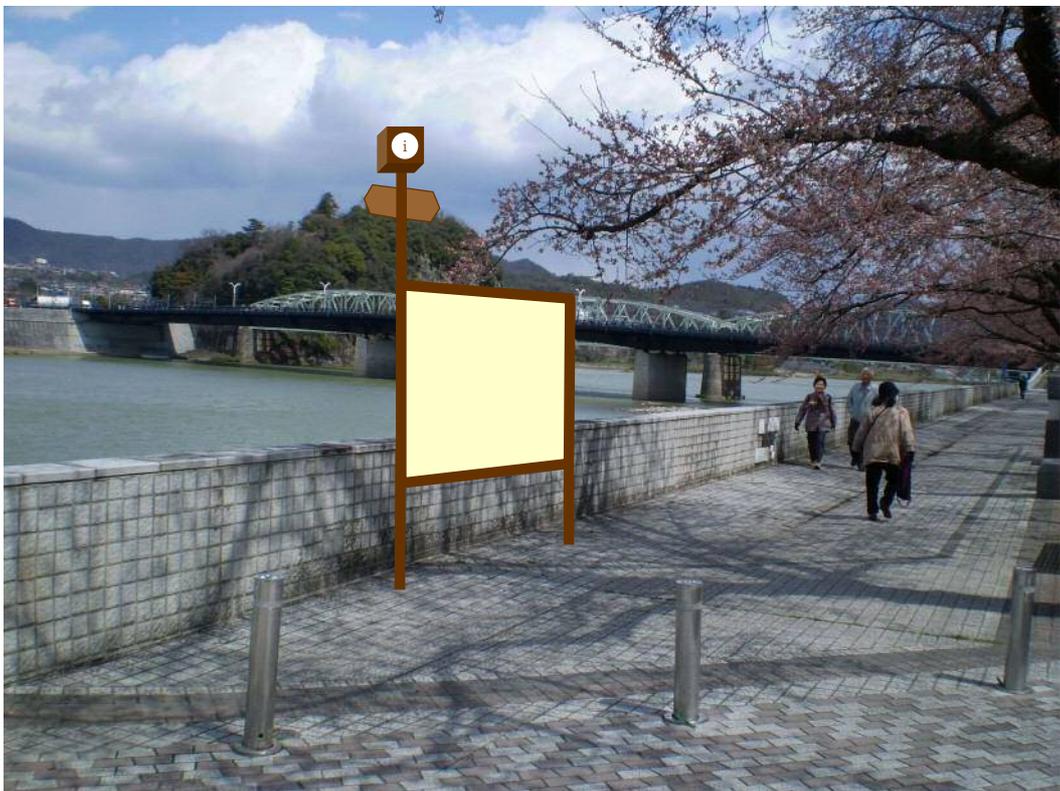
⑥地点

②-9 木曾川河畔遊歩道の間地点の配置案【配置方針図の案小(9)】

- ・直線区間が長いため、観光客の現在位置の確認と散策途中の休憩スポットの提供を目的に、案内サインを設置することが考えられる。



▲ a 案…遊歩道の進行方向と地図の向き(犬山城が上の地図の場合)が不一致になる。

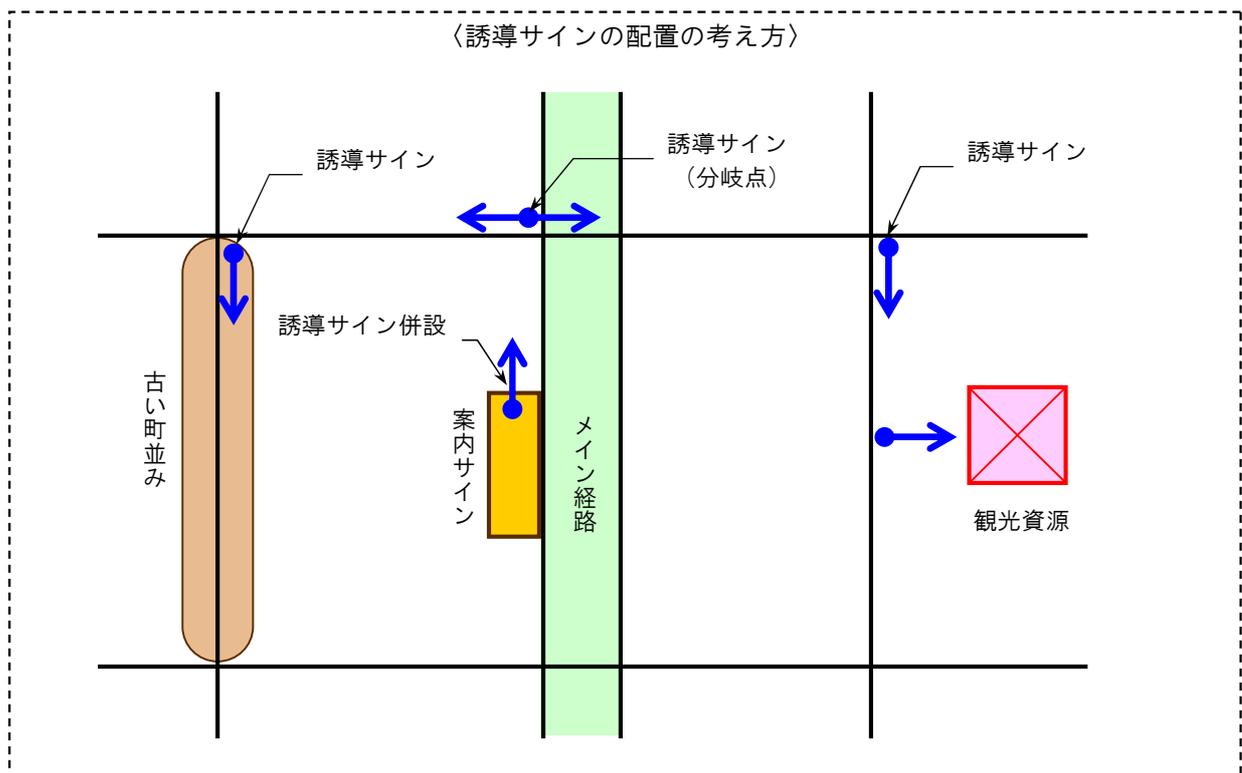


▲ b 案…木曾川河畔への眺望が少し遮られる。

### 3) 誘導サインの配置計画

#### (1) 誘導サインの配置方針

- ・案内サインに誘導サインを併設するものとする。(案内サイン設置箇所は行動起点または重要な中継点ポイントであるため)
- ・誘導サインは、案内サイン内に記載された観光資源等への経路を示すものであり、経路の分岐点に設置するものとする。
- ・上記に加えて、案内サイン設置箇所を観光客の2次的な行動起点に位置づけ、この行動起点を中心として半径概ね 200m 圏内に位置する観光資源(歴史的建築物、寺社、文化財、古い町並み等)への経路が分かるよう辻ごとに誘導サインを設置する。



#### 【誘導サインの表示内容について】

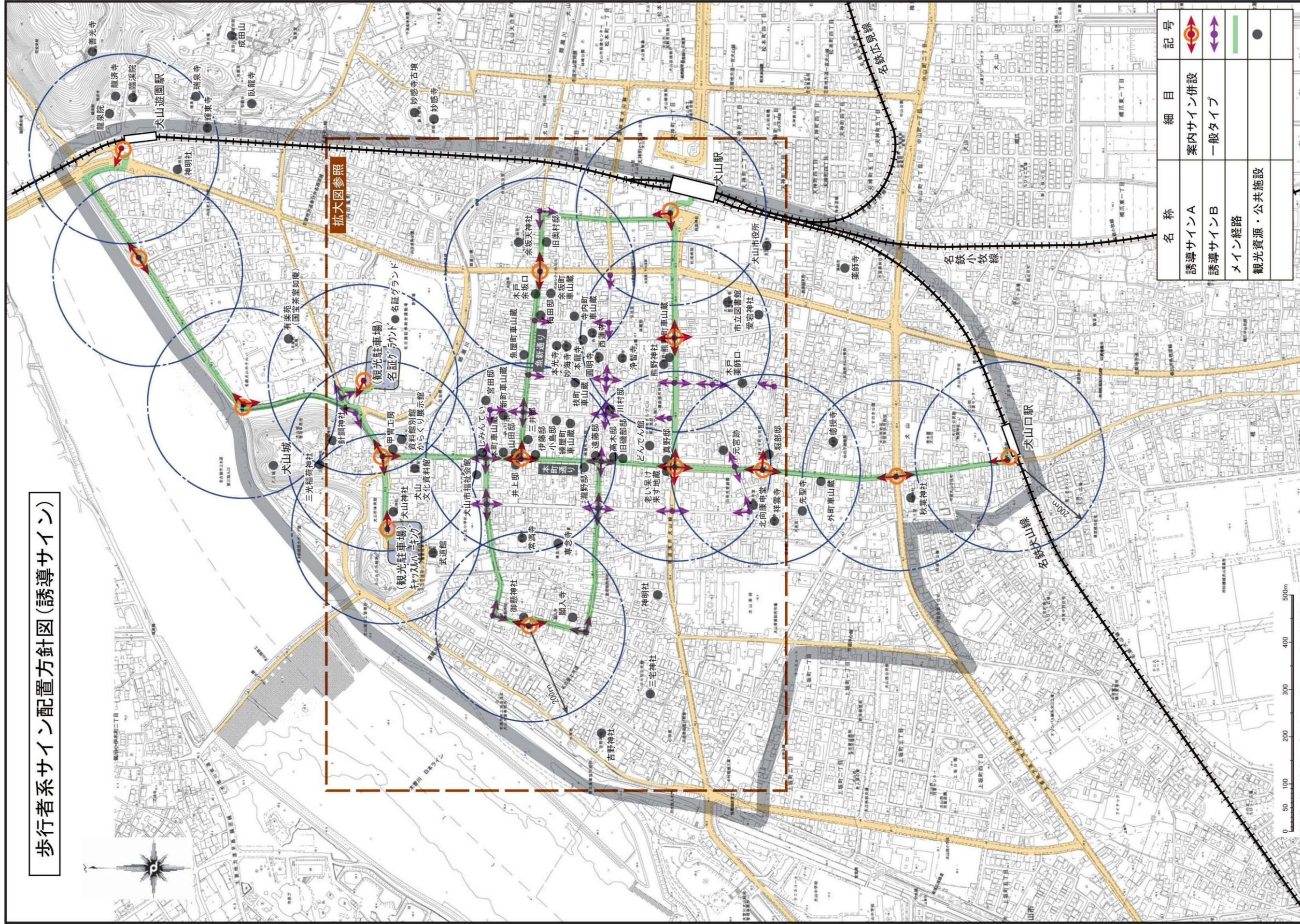
##### ① 案内サインに併設する誘導サインの表示内容

- ・ 駅 前 付 近……犬山城、本町通り(古い町並み)
- ・ 犬山城前付近……本町通り、駅
- ・ 観光駐車場……犬山城、本町通り
- ・ その他のメイン経路上……犬山城、駅

##### ② 一般的な誘導サインの表示内容

- ・ 200m 圏内の〇〇邸、寺社、〇〇町、どんでん館等の観光施設

歩行者系サイン配置方針図(誘導サイン)



名称	細目	記号
誘導サインA	案内サイン併設	
誘導サインB	一般タイプ	
メイン経路		
観光資源・公共施設		



(観光駐車場)  
キャッスルパーク  
犬山庄送宋シテ場管理事務所

犬山神社  
犬山文化資料

犬山市体育館

犬山丸の内緑地

犬山北小学校

犬山市福祉会

御懸神社

常満寺

井上邸

願入寺

専念寺

瀧野邸

吉野神社

神明社

古い呆け  
来す地蔵

三宅神社

北向康申堂

祥雲寺

犬山高校

名称	細目	記号
誘導サインA	案内サイン併設	
誘導サインB	一般タイプ	
メイン経路		
観光資源・公共施設		



木曾川 日本ライン

木津用水土地改良区  
犬山水源事務所

濃尾用水

200m

名古屋十水道

北漁業協同組合

水神社

吉野神社

中々切公民館

心明堂

天連教福置分教舎

東道浅井犬山線

白帝児童遊園

康申堂

本町通り

日本橋工業

## 4) 歩行者系サインのデザイン検討

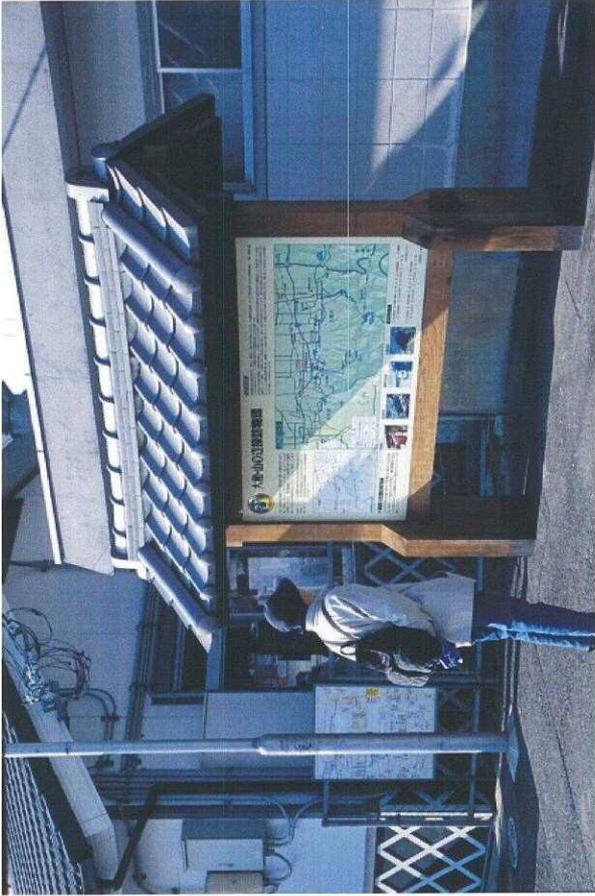
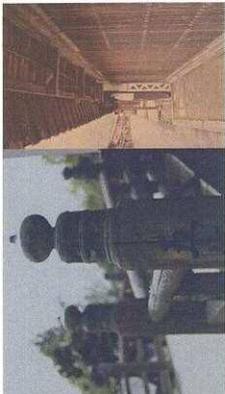
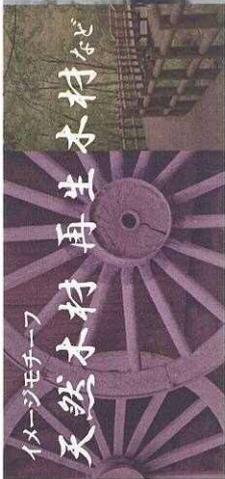
### (1) 歴史まちづくりサインの事例

歩行者系サインのデザイン検討するにあたって、他都市の歴史まちづくりサインの事例調査を行った。

歴史的な趣に調和するサインを大まかに分類すると「①木材を用いた伝統的意匠(高札場や門など)をモチーフにしたサイン」、「②石材や焼物、瓦などを用いたモノクロを基調としたサイン」、「③格子や鋳物などの重厚感や手づくり感のあるサイン」、「④まちのイメージを連想(地場産業や名所など)させる伝統色や装飾が施されたサイン」という特徴がみられる。

【歴史的な趣と調和するサインの事例】

デザインの特徴	代表例	
①木材を用いた伝統的意匠(高札場や門など)をモチーフにしたサイン		
②石材や焼物、瓦などを用いたモノクロを基調としたサイン		
③格子や鋳物などの重厚感や手づくり感のあるサイン		
④まちのイメージを連想させる(地場産業や名所など)伝統色や装飾が施されたサイン		



**大和・山の迎探訪物語**

奈良県、桜井市、天理市、山辺町が連携して取り組んだ「ウォーキングトレイルの事業」です。歩行中に便利な案内・休憩施設、「奈良らしさ」の発信、自然を堪能した高松といふ整備ポイントをふまえて整備されました。



南関町観光案内サイン(熊本県南関町)



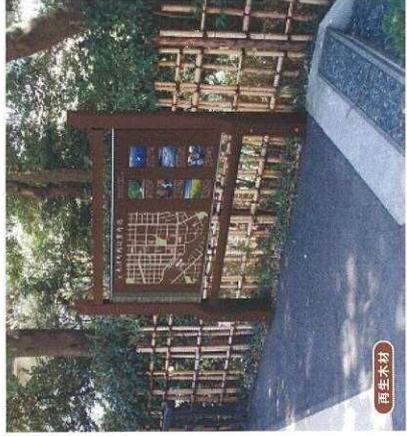
森・倉科地区玄関口サイン(長野県千曲市)



宇津ノ谷地区カントリーポイントサイン(静岡県静岡市)



道の駅 月見の里 南灘(岐阜県海津市)

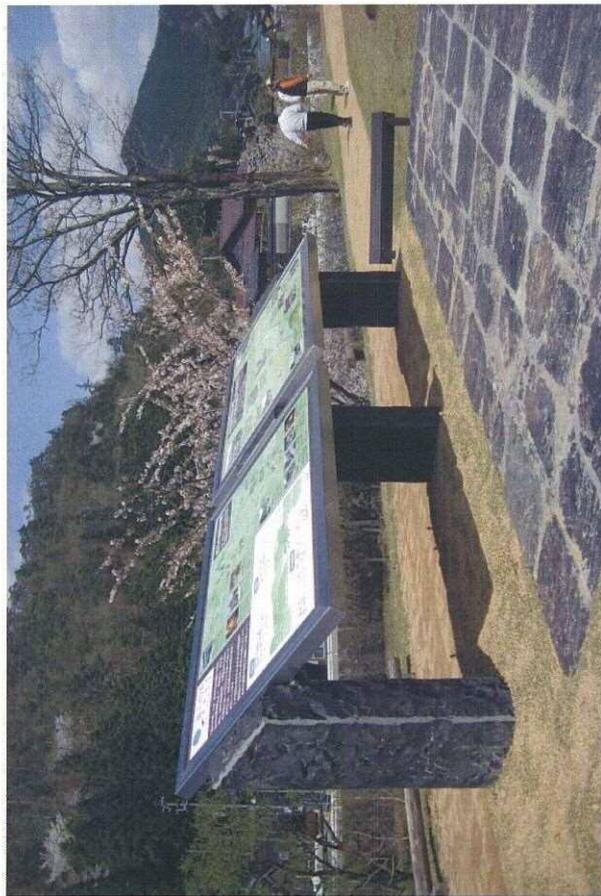


再生木材



アサヒ三形材

田園空間整備備後湖(千葉県袖ヶ浦市)



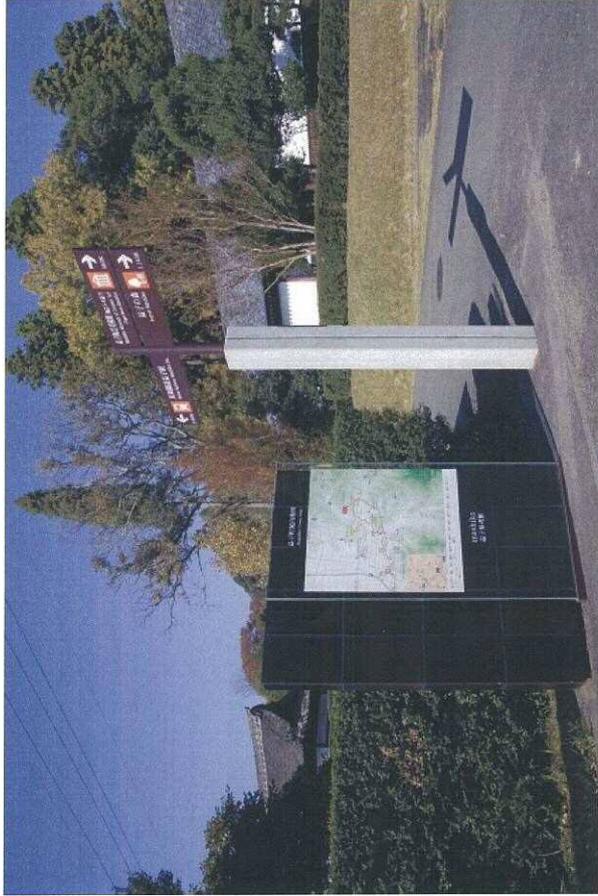
429号線蔵石の運サイン(兵庫県朝来市)



美珠町市街地サイン(北海道美珠町)

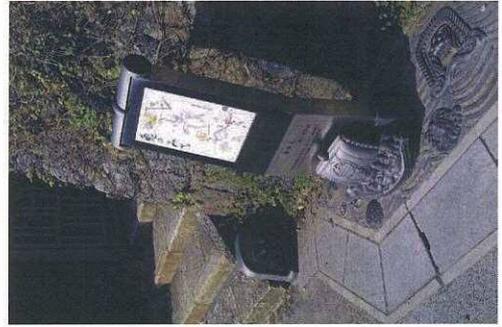


重要伝統的建造物群保存地区サイン(奈良県橿原市)

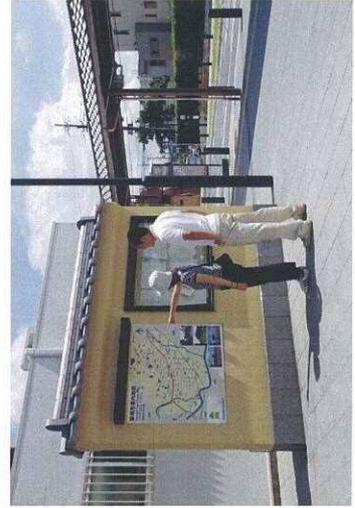


**益子町観光案内サイン(栃木県益子町)**

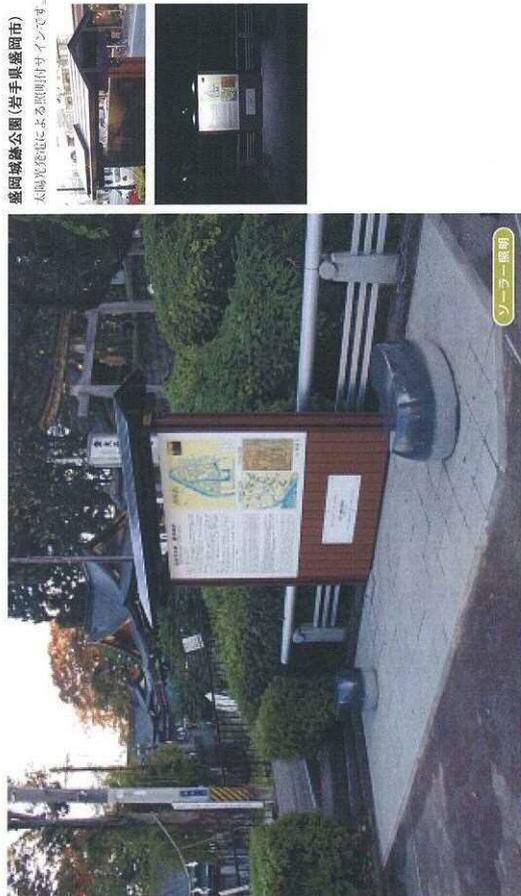
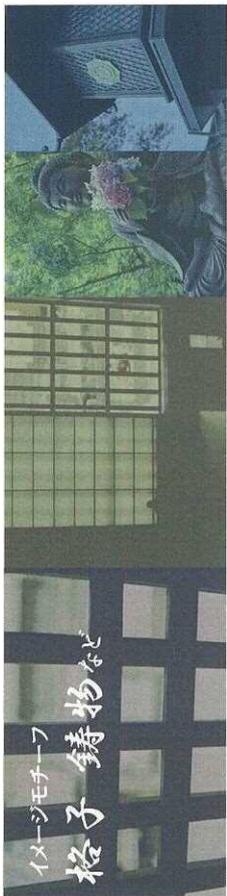
焼き物の街として知られる益子町の玄関口となる益子駅から町内を巡る密輸事業が行われ、タイルの調剤で現われた総合案内サイン、通りの案内が与えられた調剤が取り付けられた矢野タイプのサインなど、地域住民とのワークショップによって、新しい観光案内サインが設置されました。



高浜市川の運(愛知県)



沢法隆寺駅(奈良県斑鳩町)



盛岡城跡公園(岩手県盛岡市)  
太陽光発電による照度付サインです。



奈良市観光案内サイン(奈良県奈良市)

2010年、平成22年景観法が施行され、記念事業として「巡る奈良」をテーマに県内各地を回遊するルート設定をはじめ、観光バス路線が展開されました。JR奈良駅周辺から奈良公園一帯や秋篠川・住原川などの河川沿いにかけ、広く観光案内サインが整備され、歴史でつながる奈良の観光ネットワークを整えています。



藤井寺市 土師ノ里駅前(大阪府藤井寺市)



とみなみ散居村ミュージアム(富山県砺波市)

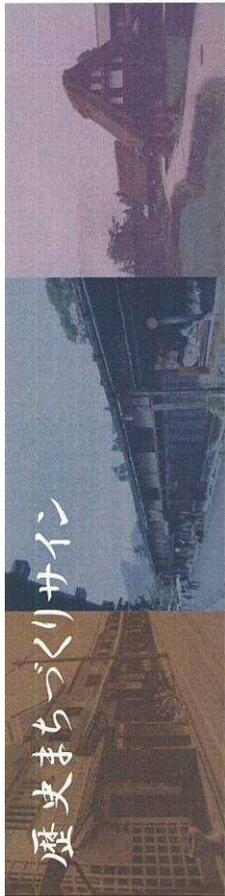


JR長坂駅(山梨県北杜市)



JR長坂駅(山梨県北杜市)

# 歴史まちづくりサイン



## 吹田市情報案内音声サイン(大阪府吹田市)

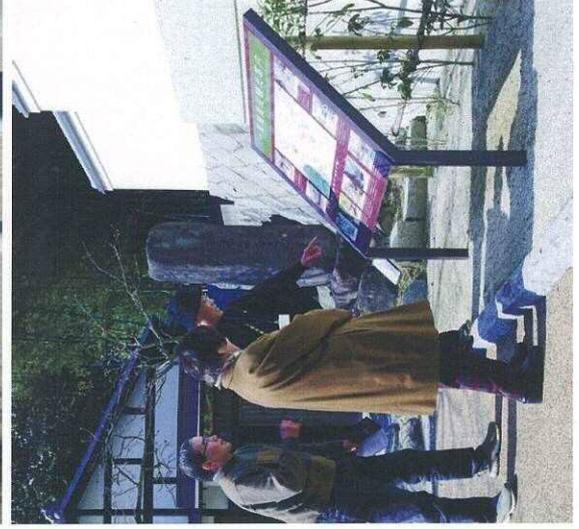
大阪府に隣接する吹田市の市街地に整備されたバリアフリー対応の音声サインです。地域文化の伝承を大切にしながら、新しい文化との共存・調和を図られています。



筑紫野市公共サイン(福岡県筑紫野市)



阪急電鉄嵐山駅前広場整備(京都府京都市)



一草庵(愛媛県松山市)



松山みらしるペマツップ

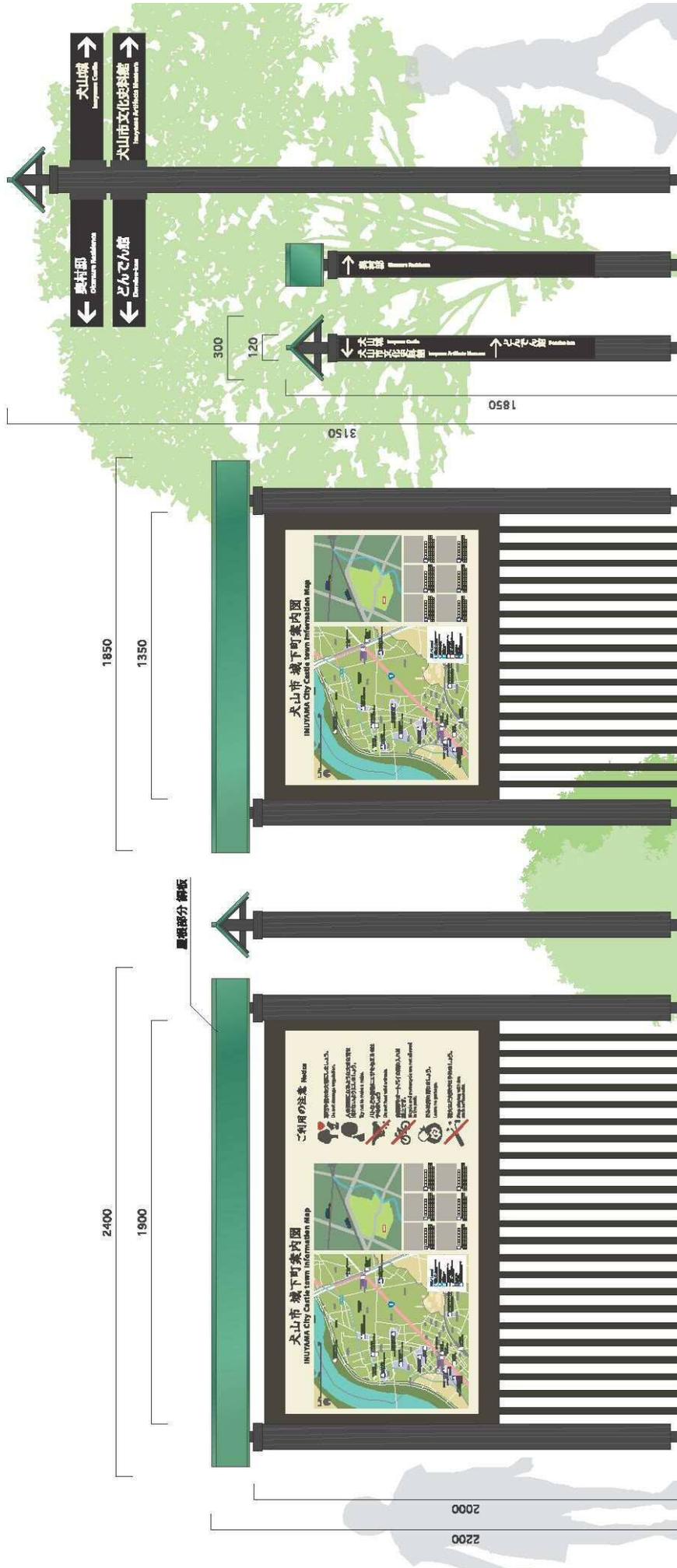
## (2) 歩行者系サインのデザイン案

他都市の歴史まちづくりサイン事例を踏まえ、歩行者系サインのデザイン案の作成を行った。城下町地区の景観に調和するようにデザインテーマを以下のように設定し、案内サインと誘導サインの連続性や統一性の確保を図るとともに、「見つけやすさ」、「見やすさ」に配慮したシンプルな形状を基本とする。

### 【歩行者系サインのデザインテーマ】

テーマ	モチーフ
<p><b>【A案】</b></p> <p>城下町内には、「札の辻」と呼ばれる高札場が設けられていたことから、高札をモチーフにしたサインをデザインする</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>▲高札場</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>▲高札</p> </div> </div>
<p><b>【B案】</b></p> <p>城下町の出入口には、「木戸」と呼ばれる木で造られた門が設置されていたことから、木戸をモチーフにしたサインをデザインする</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>▲東海道亀山／広重画</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>▲木戸門／川越市</p> </div> </div>
<p><b>【C案】</b></p> <p>格子は日本の伝統的意匠であり、犬山城の天守閣にも使われているため、格子をモチーフにしたサインをデザインする</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>▲犬山城の格子</p> </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div>
<p><b>【D案】</b></p> <p>犬山城周辺は桜の名所、桜は市の花でもあることから、桜をモチーフにしたサインをデザインする(犬山さくらねっとうおーく構想を踏襲)</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>▲犬山城と桜</p> </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div>

犬山市城下町サイン計画 A



**薄サイン (矢羽根型)**  
 本体：合成木材  
 SUS/焼付け塗装  
 表示板：鋼材+シート貼り  
 W600×H150mm

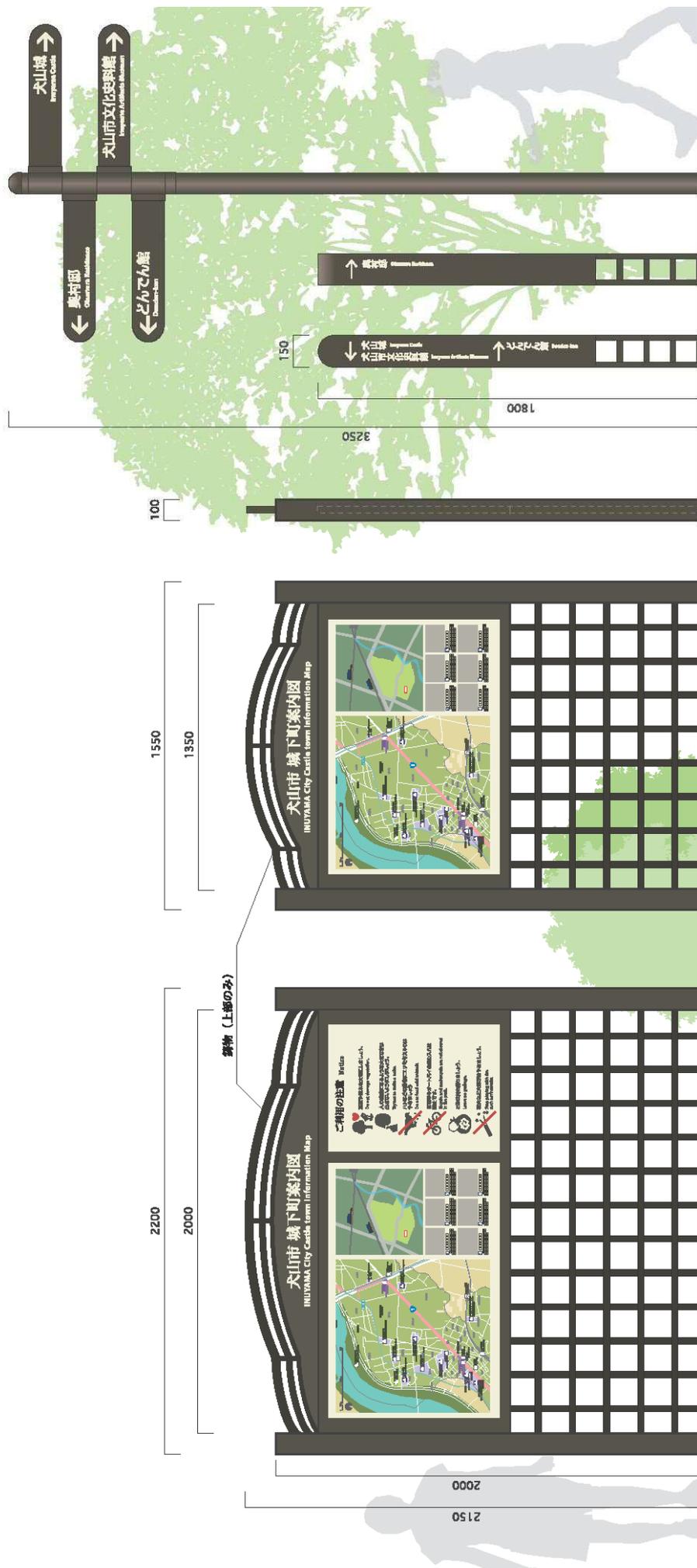
**薄サイン (単柱型)**  
 本体：合成木材  
 SUS/焼付け塗装  
 表示板：カラー印刷板  
 W100×H1200mm

**案内板**  
 本体：合成木材 SUS/焼付け塗装  
 表示板：カラー印刷板  
 W1200×H900mm

**総合案内板**  
 本体：合成木材 SUS/焼付け塗装  
 表示板：地図、案内表示/カラー印刷板  
 W1800×H900mm



C 犬山市城下町サイン計画



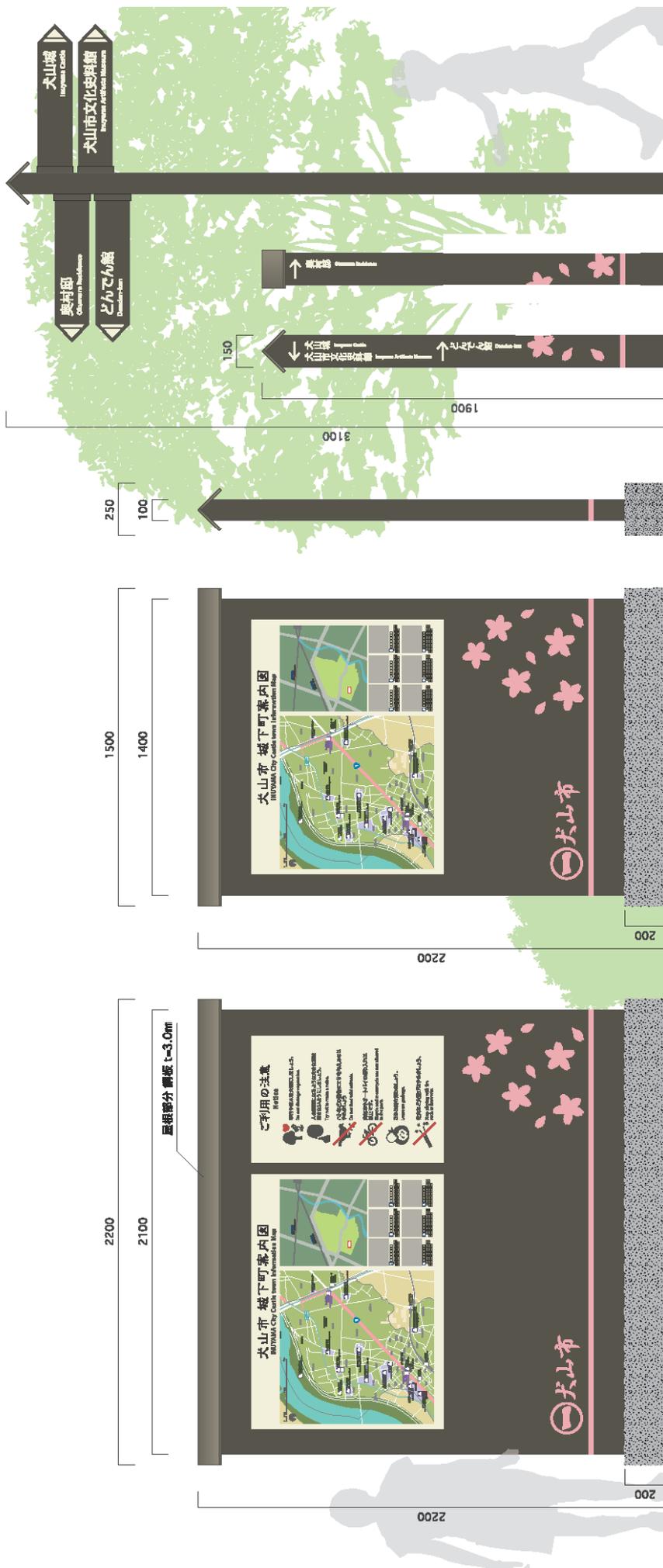
**総合案内板**  
 本体：SUS;焼付け塗装 + 鋳物（一部）  
 表示板：カラー印刷板 W1200×H800mm  
 タイトル 切り文字  
 W600×H800mm

**案内板**  
 本体：SUS;焼付け塗装 + 鋳物（一部）  
 表示板：カラー印刷板  
 W1200×H800mm  
 タイトル 切り文字

**誘導サイン（単柱型）**  
 本体：SUS/焼付け塗装  
 表示板：シート貼り

**誘導サイン（矢羽根型）**  
 本体：SUS/焼付け塗装  
 表示板：銅材+シート貼り  
 W700×H150mm

# D 犬山市城下町サイン計画



**総合案内板**  
 本体：SUS/焼付け塗装 + 御影石/小叩き仕上げ 貼り合わせ  
 表示板：カラー印刷板 W1200×H900mm W600×H900mm

**案内板**  
 本体：SUS/焼付け塗装 + 御影石/小叩き仕上げ 貼り合わせ  
 表示板：カラー印刷板 W1200×H900mm

**誘導サイン (単柱型)**  
 本体：SUS/焼付け塗装  
 表示板：シート貼り

**誘導サイン (矢羽根型)**  
 本体：SUS/焼付け塗装  
 表示板：シート貼り